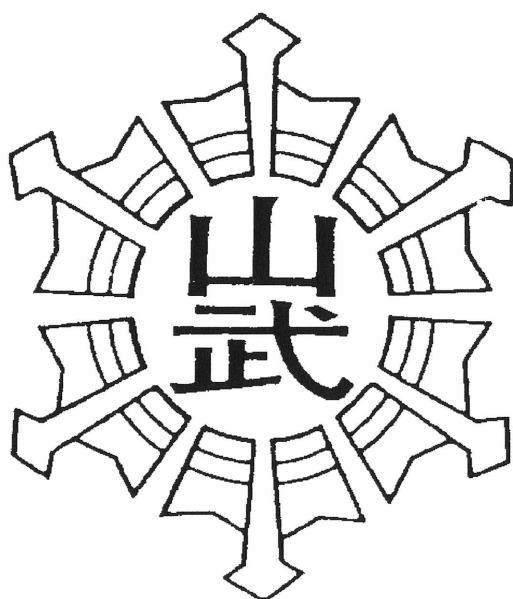


消防年報

平成 26 年版



山武郡市広域行政組合消防本部

は し が き

- 1 この年報は、平成27年4月1日現在の本組合消防における消防現況及び平成26年中の主な消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。
- 2 統計は原則として暦年をもって表わし、予算等に関係のある事項については会計年度としたものです。

平成27年7月

山武郡市広域行政組合消防本部

目 次

総 務

山武郡市広域行政組合格約	1
組合消防の沿革	2
位置と地勢	9
山武郡市広域行政組合消防分布図	10
消防組織図	11
消防庁舎の現況	11
構成市町の概要	12
人口・世帯数の推移	12
対象物との比率	12
職員の定員と現員	12
職員の配置状況	13
職員の階級別勤続年数	13
職員の階級別年齢	13
消防学校等の主な研修	14
職員各種資格取得状況	15
平成 26 年度歳入歳出予算（当初）	16
構成市町負担金	16

予 防

市町別防火対象物数	17
届出及び証明発行件数	17
中高層防火対象物一覧表	18
市町別中高層防火対象物数	18
消防用設備等設置届出受理件数	19
消防用設備等点検結果報告状況	19
業態別建築同意件数	20
防火対象物定期点検報告制度	21
危険物許認可等事務処理状況	21
危険物製造所等設置状況	22

指 令

通信指令システム機器一覧	23
消防救急無線施設の状況	24
通信系統図（消防救急無線系を除く）	25
無線従事者選任状況	26

119番着信状況	26
気象情報受理状況	27
気象状況	27
緊急通報取扱状況	28

警 防

消防自動車等の配置状況	29
消防機材配置状況	30
消防団員数	31
消防団車両数	31
管内消防水利一覧表	31
消防機関の出動状況	32
救急活動状況と過去5年間の比較	33
救急講習会実施状況	33
救急隊別出場状況	34
市町別救急発生状況	34
月別救急出場状況	35
曜日別救急出場状況	36
管内管外搬送人員	36
事故種別年齢区分別搬送人員	36
事故種別傷病程度別搬送人員	37
事故種別搬送人員	37
時間別救急出場状況	38
事故種別応急処置状況	38
市町別ドクターヘリ出動件数一覧表	39
年別救助活動状況	40
救助活動状況	40

火災統計

火災種別発生状況・出火原因別火災件数・建物用途別焼損面積・初期消火器具使用状況	41
火災概況及び比較表	42
市町別火災発生状況	43
火災件数及び損害状況	43
月別火災発生件数及び損害状況	44
時間別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
年別火災原因別件数	46

山武郡市広域行政組合規約 (抜粋)

(昭和 46 年 7 月 10 日 千葉県指令 第 1686 号)

(名称)

第 1 条 この組合は、山武郡市広域行政組合（以下「組合」という。）という。

(組合を組織する市町)

第 2 条 組合は、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町及び横芝光町（以下「関係市町」という。）をもって組織する。

(共同処理する事務)

第 3 条 組合は、次の各号に掲げる事務を共同で処理する。

- (1) 山武郡市の振興整備に関する計画の策定及び実施のための連絡調整に関すること。
- (2) 山武郡市振興センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (3) 養護老人ホームの設置、管理及び運営に関すること。
- (4) 老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）に基づく老人デイサービスセンター（前号に規定する養護老人ホームに併設する老人デイサービスセンターに限る。）の設置、管理及び運営に関すること。
- (5) 電子計算機による処理事務に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。
- (6) 一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の処理計画の策定、収集、運搬及び処分に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
- (7) 一般廃棄物処理業（し尿及び浄化槽汚泥に係るものに限る。）の許可及び浄化槽清掃業の許可に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
- (8) 火葬場施設の設置、管理及び運営に関すること（横芝光町については、別表に掲げる区域とする。）。
- (9) 消防事務（消防団事務を除く。）に関すること（横芝光町に係るものを除く。）。
- (10) 視聴覚教材センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (11) 市町職員の共同研修に関すること。
- (12) 市町職員の統一採用試験の事務に関すること。
- (13) 山武郡市急病診療所の設置、管理及び運営に関すること。
- (14) 在宅当番医制事業に関すること。
- (15) 病院群輪番制方式による 2 次救急医療機関運営事業に関すること。
- (16) 介護認定審査会の設置及び運営に関すること。
- (17) 老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営に関すること。
- (18) 介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）に基づく居宅介護支援事業（第 4 号に規定する老人デイサービスセンターで行うものに限る。）に関すること。
- (19) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号）に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること。
- (20) 教育相談センターの設置、管理及び運営に関すること。
- (21) 前各号に附帯する事務

(事務所の位置)

第 4 条 組合の事務所は、千葉県東金市東岩崎 1 番地 1 7 山武郡市振興センター内に置く

組 合 消 防 の 沿 革

- 昭和 42 年 4 月 1 日 東金市消防本部発足 水槽付ポンプ自動車 1 台・普通ポンプ自動車 1 台・指揮車 1 台
- 45 年 12 月 1 日 山武郡市（横芝町を除く。）は、広域組合消防の指定を受け、消防事務を共同処理することを決定した。
- 48 年 4 月 1 日 政令指定を受ける。
消防長に組合管理者石橋一弥氏が事務取扱、次長に金沢禎二氏が就任
山武郡市広域行政組合消防本部発足 構成市町村は、東金市・大網白里町・九十九里町・成東町・山武町・蓮沼村・松尾町・芝山町の 1 市 6 町 1 村、消防職員 3 1 名東金市消防本部より移行 消防庁舎・車輛等備品類は東金市より贈与される。消防職員 2 3 名採用、実員 5 4 名となる。
- 48 年 6 月 26 日 千葉県共済農業共同組合連合から救急車 1 台寄贈される。
芝山町役場内に救急隊（救急車 1 台、隊員 8 名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48 年 7 月 1 日 救急車 2 台購入、救急車 4 台となる。
大網白里町・九十九里町・各役場内に救急隊（救急車 2 台、隊員 1 6 名）を配置し、救急業務を開始する。
- 48 年 10 月 1 日 水槽付ポンプ自動車 3 台・普通ポンプ自動車 1 台購入、ポンプ自動車 6 台となる。
- 48 年 11 月 14 日 連絡車 1 台・査察車 1 台購入、本部に配置する。
- 48 年 12 月 1 日 消防職員 実員 6 5 名となる。
- 49 年 2 月 1 日 日本自動車工業会から救急車 1 台寄贈され本署に配置、旧救急車を廃車する。
- 49 年 7 月 1 日 普通ポンプ自動車東金市消防団へ払下げ、ポンプ自動車 5 台となる。
- 49 年 8 月 1 日 成東町役場救急業務を引継ぎ救急隊員 8 名を配置し、救急業務を開始する。
- 49 年 10 月 1 日 水槽付ポンプ自動車 2 台購入、ポンプ自動車 7 台となる。
- 49 年 11 月 1 日 九十九里分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 1 4 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 49 年 12 月 1 日 大網白里分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 1 4 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。消防職員 実員 9 3 名となる。
- 50 年 1 月 1 日 芝山分遣所落成、職員 6 名増員し、分遣所実員 1 4 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 50 年 2 月 23 日 消防長に組合管理者早野尚治氏が事務取扱となる。
- 50 年 4 月 1 日 大網白里・九十九里・芝山分遣所に 2 名増員し、各分遣所実員 1 6 名となる。
- 50 年 6 月 1 日 山武分遣所落成、職員 1 6 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置、業務を開始する。
- 50 年 8 月 30 日 化学消防自動車 1 台購入、本署に配置する。
- 50 年 11 月 6 日 消防指揮車 1 台購入、本署に配置する。
- 50 年 12 月 31 日 消防職員 実員 1 1 5 名となる。
- 51 年 4 月 1 日 東金ライオンズクラブから緊急用赤バイク寄贈される。
- 51 年 9 月 1 日 次長に小出喜朗氏が就任
- 51 年 12 月 31 日 消防職員 実員 1 2 3 名となる。
- 52 年 12 月 31 日 消防職員 実員 1 2 4 名となる。
- 53 年 3 月 18 日 新東京国際空港公団、成田市消防本部、佐原市外五町消防組合消防本部、佐倉市外 2 町消防組合消防本部、八日市場市外 3 町消防組合消防本部、富里町消防本部、栄町消防本部と新東京国際空港消防相互応援協定を締結する。
- 53 年 6 月 1 日 蓮沼村役場内に救急車 1 台、職員 8 名配置し、救急業務を開始する。

昭和 53 年 12 月 31 日 消防職員 実員 134 名となる。

54 年 3 月 14 日 化学消防車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。

54 年 4 月 14 日 千葉県消防設備保守協会から広報車寄贈され、消防本部に配置する。

54 年 8 月 29 日 東金ロータリークラブから救急車 1 台寄贈される。

54 年 12 月 31 日 消防職員 実員 137 名となる。

55 年 3 月 26 日 水槽付ポンプ自動車 1 台、普通ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台購入（東消防署（仮称）配置用）

55 年 4 月 17 日 日本損害保険協会から水槽付ポンプ自動車 1 台寄贈され、消防署に配置する。

55 年 10 月 1 日 東消防署開設準備室を消防署に配置、職員 26 名を配置準備開始する。消防連絡車 3 台購入、東消防署準備室・芝山分遣所・山武分遣所に配置する。

55 年 11 月 1 日 成東町に 2 町 1 村（成東町・松尾町・蓮沼村）の消防業務を実施する東消防署落成。職員 26 名、水槽付ポンプ自動車 2 台、普通ポンプ自動車 1 台、救急車 2 台（内 1 台予備車）配置、業務を開始する。同時に機構改革し、消防署を中央消防署に改称。成東救急隊、蓮沼救急隊を廃止する。

55 年 12 月 31 日 消防職員 実員 143 名となる。

56 年 6 月 1 日 八日市場市外 3 町消防組合消防本部に 119 番転送装置を設置する。（平成 10 年 5 月 31 日解除）

56 年 6 月 30 日 消防連絡車 2 台購入、大網白里分遣所・九十九里分遣所に配置する。

56 年 12 月 31 日 消防職員 実員 150 名となる。

57 年 4 月 1 日 消防職員 実員 155 名となる。

57 年 4 月 25 日 消防長に組合管理者野口洋一氏が事務取扱となる。

57 年 7 月 1 日 消防長に古川幸男氏が就任

57 年 12 月 14 日 救助工作車購入し、中央消防署に配置する。

57 年 12 月 27 日 東金市田間 太田昭雄氏から指揮車寄贈され、中央消防署に配置する。

58 年 4 月 1 日 消防本部課制施行（総務課・予防課・警防課）され実員 154 名となる。

58 年 8 月 1 日 八日市場市外 3 町消防組合、佐倉市外 2 町消防組合と消防相互応援協定を締結する。

58 年 9 月 14 日 消防団本部に消防無線移動局 10W3 基（東金市、九十九里町、山武町）配置する。

58 年 11 月 17 日 救急車購入し、芝山分遣所に配置する。

59 年 1 月 28 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、東消防署に配置する。

59 年 6 月 1 日 佐倉市外 2 町（組）消防本部、八街分署に直通電話を設置する。（平成 5 年 9 月 1 日解除）

59 年 9 月 1 日 消防団本部に消防無線移動局 10W5 基（大網白里町、成東町、松尾町、芝山町、蓮沼村）配置する。

59 年 9 月 29 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、九十九里分遣所に配置する。

59 年 9 月 29 日 救急車 1 台購入、大網白里分遣所に配置する。

59 年 12 月 25 日 資材運搬車（軽四輪貨物）購入、消防本部に配置する。

60 年 10 月 1 日 消防音楽隊を発足する。

60 年 11 月 8 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。

61 年 3 月 28 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、中央消防署に配置する。

61 年 7 月 1 日 白里救急隊発足、救急業務を開始する。

61 年 11 月 18 日 水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台購入、山武分遣所に配置する。

61 年 12 月 1 日 白里救急隊庁舎落成。職員 8 名、水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台配置し、消防業務を開始する。

62 年 4 月 1 日 大網白里分遣所を南消防署に改称、1 本部、3 署、3 分遣所、1 救急隊となる。

昭和 62 年 4 月 1 日 消防職員 実員 160 名となる。

62 年 12 月 10 日 水槽付ポンプ自動車、救急車各 1 台購入、中央消防署に配置する。

63 年 4 月 1 日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課指令係が指令課となり、4 課制となる。

63 年 4 月 1 日 消防職員 実員 164 名となる。

63 年 5 月 1 日 消防長に片岡六郎氏が就任

63 年 7 月 27 日 日本消防協会から電源照明用資器材等搬送車寄贈される。東消防署に配置する。

63 年 12 月 15 日 化学消防ポンプ自動車 1 台購入、芝山分遣所に配置する。

平成元年 4 月 1 日 無線中継局設置、救急波導入、運用開始する。

元年 4 月 1 日 消防職員 実員 165 名となる。

元年 10 月 25 日 「千葉市、茂原市及び大網白里町の行政区域にかかるゴルフ場の火災救急等消防活動に関する申し合わせ。」について協定する。

元年 12 月 28 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、南消防署に配置する。

3 年 1 月 12 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、東消防署に配置する。

3 年 3 月 28 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、白里救急隊に配置する。

3 年 4 月 1 日 消防長に谷上順氏が就任

3 年 9 月 2 日 日本損害保険協会から消防指令広報車寄贈され、消防本部に配置する。

3 年 11 月 25 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、中央消防署に配置する。

4 年 2 月 26 日 日本損害保険協会から救急車 1 台寄贈され、九十九里分遣所に配置する。

4 年 4 月 1 日 消防職員 実員 169 名となる。

5 年 3 月 3 日 梯子付消防自動車（40m）1 台購入、中央消防署に配置する。

5 年 4 月 1 日 消防職員 実員 173 名となる。

5 年 5 月 21 日 広報車 1 台更新、予防課に配置する。

5 年 8 月 1 日 消防職員 4 名採用、実員 174 名となる。

5 年 11 月 30 日 水槽付ポンプ自動車 1 台購入、九十九里分遣所に配置する。

6 年 4 月 1 日 消防職員 15 名採用、実員 186 名となる。

6 年 4 月 1 日 消防長職務代理者に次長櫻田光夫氏が就任

6 年 8 月 1 日 消防職員 4 名採用、実員 187 名となる。

6 年 8 月 31 日 連絡車 1 台更新、東消防署に配置する。

6 年 11 月 30 日 連絡車 2 台更新、山武分遣所・芝山分遣所に配置する。

7 年 1 月 10 日 化学消防ポンプ自動車 1 台更新、中央消防署に配置する。

7 年 3 月 16 日 救急自動車 1 台更新、芝山分遣所に配置する。

7 年 4 月 1 日 消防職員 12 名採用、実員 198 名となる。（週 40 時間勤務に対応）

7 年 4 月 5 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

7 年 9 月 8 日 平成 7 年度千葉県救急医療功労者として山武郡市広域行政組合消防本部が表彰される。

7 年 11 月 2 日 高規格救急自動車第 1 号を中央消防署へ配置する。（更新）

7 年 11 月 6 日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署に配置する。

8 年 1 月 17 日 緊急消防援助隊旗交付される。

8 年 4 月 9 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

8 年 4 月 1 日 消防職員 3 名採用、実員 200 名となる。

8 年 7 月 30 日 連絡車 1 台更新、九十九里分遣所に配置する。

8 年 8 月 29 日 消防職員条例定数改正、258 名となる。（平成 9 年 4 月施行）

8 年 10 月 14 日 財救急振興財団、救急救命九州研修所へ 1 名研修

8 年 10 月 1 日 消防組織法改正に伴い消防職員委員会を設置する。

平成 9 年 3 月 11 日 救急自動車（2 B）2 台更新、東、南消防署に配置する。

9 年 3 月 31 日 救助工作車Ⅱ型更新、中央消防署に配置する。

9 年 4 月 1 日 消防職員 6 名採用、実員 2 0 6 名となる。

9 年 4 月 1 日 消防長に櫻田光夫氏が就任

9 年 4 月 8 日 財救急振興財団、救急救命九州研修所へ 1 名研修

9 年 6 月 24 日 人員搬送車としてマイクロバスを更新する。

9 年 8 月 7 日 連絡車 1 台更新、山武分遣所に配置する。

9 年 12 月 1 日 中央消防署増改築工事が完成する。

10 年 3 月 3 日 救急自動車（2 B）更新、山武分遣所に配置する。

10 年 4 月 1 日 東金・成東警察署との専用回線を開設する。（平成 2 5 年 1 月 3 1 日解除）

10 年 4 月 1 日 消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）更新、運用を開始する。

10 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 2 1 2 名となる。

10 年 4 月 1 日 松尾町八田地区（約 3 5 0 住戸）の 1 1 9 番通報が全て当消防本部へ入電するようになる。

10 年 4 月 1 日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に財務係、予防課に査察係を設ける。

10 年 5 月 20 日 東消防署訓練施設用地購入（8 2 0 m²）に係わる契約を締結する。

10 年 10 月 8 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

10 年 12 月 16 日 高規格救急自動車第 2 号を東消防署に配置する。（更新）

11 年 3 月 1 日 救急自動車（2 B）更新、九十九里分遣所に配置する。

11 年 3 月 23 日 南消防署白里救急隊庁舎増築工事が完成する。

11 年 3 月 31 日 指揮原因調査車更新、警防課に配置する。

11 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 2 1 8 名となる。

11 年 4 月 8 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

11 年 5 月 1 日 書庫の整備（アクアプラント内、庁舎）

11 年 8 月 1 日 成田市・芝山町・山武郡市広域行政組合消防相互応援協定を締結する。

11 年 10 月 13 日 財救急振興財団、救急救命九州研修所へ 1 名研修

11 年 10 月 24 日 指揮車更新、中央消防署に配備する。

12 年 3 月 21 日 救急自動車（2 B）更新、芝山分遣所に配備する。

12 年 3 月 22 日 水槽付ポンプ自動車（救助資器材装備）更新、芝山分遣所に配置する。

12 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 2 2 4 名となる。

12 年 4 月 1 日 3 消防署に日勤の副署長を置く。

12 年 4 月 10 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

12 年 5 月 1 日 「消防力適正配置検討委員会」を設置する。

12 年 9 月 1 日 第 2 1 回七都県市合同防災訓練が東金市「千葉県会場」で開催される。

12 年 10 月 12 日 連絡車 1 台更新、警防課に配置する。

13 年 2 月 23 日 消防力適正配置検討委員会での調査報告書を答申する。

13 年 3 月 8 日 山武郡市広域行政組合消防本部、大網白里町消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。

13 年 3 月 23 日 水槽付ポンプ自動車（救助資器材装備）更新、山武分遣所に配置する。

13 年 3 月 31 日 山武郡市振興センター内の消防本部事務室の改修工事が完了する。

13 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 2 3 0 名となる。

13 年 4 月 10 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

13 年 9 月 20 日 連絡車 1 台更新、総務課に配置する。

13 年 10 月 10 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

13 年 12 月 17 日 水槽付ポンプ自動車更新、中央消防署に配置する。

- 平成13年12月21日 高規格救急自動車第3号を南消防署に配置する。(更新)
- 14年2月6日 消防施設整備計画を策定する。
- 14年4月1日 消防職員10名採用、実員235名となる。
- 14年4月1日 消防長に秋葉治夫氏が就任
- 14年8月30日 梯子付消防自動車のオーバーホールを完了する。
- 14年9月25日 査察広報車更新、予防課へ配置する。
- 14年10月1日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ1名研修
- 14年11月12日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「さいたま市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 14年12月13日 高規格救急自動車更新、中央消防署に配置する。
- 15年1月18日 千葉県主催「防災フェアちば2003 in 東金」が東金市・山武郡市広域行政組合消防本部
19日 共催で開催される。
- 15年3月14日 芝山分遣所庁舎建設用地購入 (3,642.09 m²)
- 15年3月25日 水槽付ポンプ自動車(救助資機材装備)更新、南消防署に配置する。
- 15年4月1日 消防職員12名採用、実員242名となる。
- 15年9月3日 広報車1台更新、予防課に配置する。
- 15年10月7日 (財)救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修
- 15年10月28日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「甲府市会場」で開催され、消火部隊が参加する。
- 15年11月3日 今関十九二氏(元職員)叙勲(危険分野)受章
- 16年4月1日 消防職員9名採用、実員246名となる。
- 16年4月1日 消防長に古川勝也氏が就任
- 16年4月5日 (財)救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修
- 16年10月4日 (財)救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修
- 16年12月10日 水槽付ポンプ自動車更新、東消防署へ配置する。
- 16年12月15日 救急自動車(2B)更新、白里救急隊に配置する。
- 17年2月28日 芝山分遣所庁舎移転新築工事が完成する。
- 17年4月1日 3分遣所を分署、1救急隊を出張所と改称する。
- 17年4月1日 消防職員5名採用、実員249名となる。
- 17年4月1日 東京消防庁消防学校、救急救命士養成課程へ1名研修
- 17年4月5日 (財)救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修
- 17年10月4日 (財)救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修
- 17年12月20日 高規格救急自動車第4号を山武分署に配置する。(更新)
- 18年4月1日 消防職員5名採用、実員251名となる。
- 18年4月1日 消防本部の組織の一部を改正し、総務課に企画係を設け、警防課の救急救助係を救急係に改め、新たに救助係を設ける。
- 18年4月6日 (財)救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修
- 18年10月1日 消防職員1名採用
- 18年11月14日 水槽付ポンプ自動車を更新、中央消防署に配置する。
- 18年12月22日 高規格救急自動車第5号を九十九里分署に配置する。(更新)
- 18年12月22日 高規格救急自動車第6号を東消防署に配置する。(更新)
- 19年2月2日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、第3ブロック指揮隊、救助部隊が参加する。
- 19年4月1日 消防職員7名採用、実員256名となる。

平成 19 年 4 月 1 日 救急隊 1 隊増隊し高規格救急自動車第 2 号を中央消防署へ配置する。

19 年 4 月 6 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

19 年 9 月 1 日 第 28 回八都府合同防災訓練が「市原市」で開催され、救助部隊、救急部隊が参加する。

19 年 9 月 10 日 横浜市安全管理局、救急救命士養成所へ 1 名研修

19 年 10 月 20 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「前橋市会場」で開催され、消火部隊が参加する。

20 年 2 月 1 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。

20 年 2 月 25 日 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新、芝山分署へ配置する。

20 年 2 月 29 日 水槽付ポンプ自動車を更新、九十九里分署へ配置する。

20 年 4 月 1 日 消防職員 7 名採用、実員 258 名となる。

20 年 4 月 1 日 消防長に布留川富夫氏が就任

20 年 4 月 4 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

20 年 9 月 9 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

20 年 11 月 3 日 小出喜朗氏（元職員）叙勲（危険分野）受章

20 年 12 月 3 日 消防職員 1 名採用

21 年 1 月 30 日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。

21 年 2 月 17 日 災害対応特殊救急自動車第 7 号を芝山分署へ配置する。（更新）

21 年 4 月 1 日 消防職員 4 名採用

21 年 4 月 6 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

21 年 9 月 9 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

21 年 9 月 5 日 第 30 回八都府合同防災訓練が山武市「千葉県会場」で開催

21 年 11 月 3 日 片岡六郎氏（元職員）叙勲（危険分野）受章

21 年 11 月 14 日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「千葉市会場」で開催され、消火部隊及び救助部隊が参加する。

22 年 4 月 1 日 消防職員 4 名採用

22 年 4 月 6 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

22 年 4 月 29 日 谷上順氏（元職員）叙勲（危険分野）受章

22 年 6 月 1 日 消防職員 1 名採用

22 年 9 月 9 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

23 年 1 月 27 日 消防ポンプ自動車（CD-I 型）を更新、白里出張所へ配置する。

23 年 3 月 20 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 3 次派遣隊として消火部隊及び後方支援部隊 10 名で、岩手県陸前高田市へ出動する。

23 年 3 月 28 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 6 次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊 6 名で、福島県福島市へ出動する。

23 年 4 月 1 日 消防職員 5 名採用

23 年 4 月 1 日 消防長に元倉斗史一氏が就任

23 年 4 月 1 日 条例定数 278 名に改正

23 年 4 月 1 日 「東北地方太平洋沖地震」の被災地に緊急消防援助隊千葉県隊第 7 次派遣隊として救急部隊及び後方支援部隊の交代要員として 6 名で、福島県福島市へ出動する。

23 年 4 月 4 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

23 年 9 月 9 日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ 1 名研修

24 年 2 月 29 日 東金市家徳に消防本部・中央消防署合同庁舎が完成

24 年 3 月 22 日 高規格救急自動車第 1 号更新、中央消防署へ配置する。

24 年 3 月 27 日 消防本部・中央消防署合同庁舎落成式開催

平成24年4月1日 消防職員12名採用、実員263名となる。

24年4月1日 中央消防署へ指揮隊を配置する。

24年4月5日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修

24年9月10日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修

25年1月29日 支援車Ⅱ型1台購入、中央消防署に配置する。

25年1月31日 消防本部指令課が消防本部・中央消防署合同庁舎へ移転する。

25年2月19日 山武郡市広域行政組合消防庁舎建設基本計画を策定する。

25年2月24日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。

25年3月21日 高規格救急自動車更新、南消防署に配置する。

25年4月1日 ちば消防共同指令センター（千葉県北東部・南部ブロックの20消防（局）本部による）が開設する。

25年4月1日 東消防署及び南消防署へ指揮隊を配置する。

25年4月1日 消防職員13名採用、実員267名となる。

25年4月1日 消防長に大塚雅彦氏が就任

25年4月4日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修

25年7月25日 連絡車3台購入。中央消防署、東消防署及び南消防署に配置する。

25年9月3日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修

26年1月24日 災害対応特殊救急自動車更新、中央消防署に配置する。

26年1月30日 高規格救急自動車更新、東消防署に配置する。

26年2月1日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。

26年3月13日 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）更新、南消防署に配置する。

26年4月1日 南消防署にポンプ小隊を1隊増隊する。

26年4月1日 消防職員15名採用、実員272名となる。

26年4月4日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修

26年9月1日 財救急振興財団、救急救命東京研修所へ1名研修

26年11月3日 秋葉治夫氏（元職員）叙勲（秋の叙勲）受章

26年11月3日 小倉静雄氏（元職員）叙勲（危険分野）受章

26年11月5日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が「浜松市会場」で開催され、消火部隊が参加する。

26年11月19日 指揮車更新、東消防署に配置する。

27年1月31日 千葉県消防広域応援隊合同訓練が「千葉県消防学校」で開催され、救助部隊が参加する。

27年3月12日 化学消防自動車（Ⅱ型）更新、中央消防署に配置する。

27年3月12日 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）1台購入、中央消防署に配置する。

27年4月1日 消防職員19名採用、実員273名となる。

27年4月1日 消防長に押田信明氏が就任

27年4月1日 消防本部の組織の一部を改正し、警防課の調査係を予防課調査係に、予防課指導係を予防課危険物係に改める。

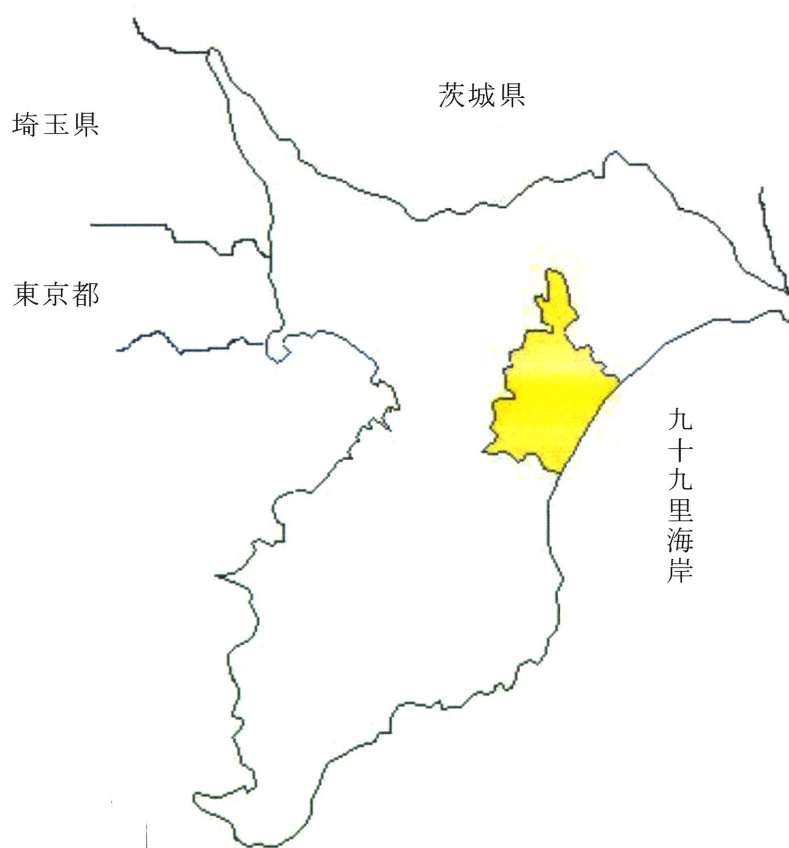
位 置 と 地 勢

位 置

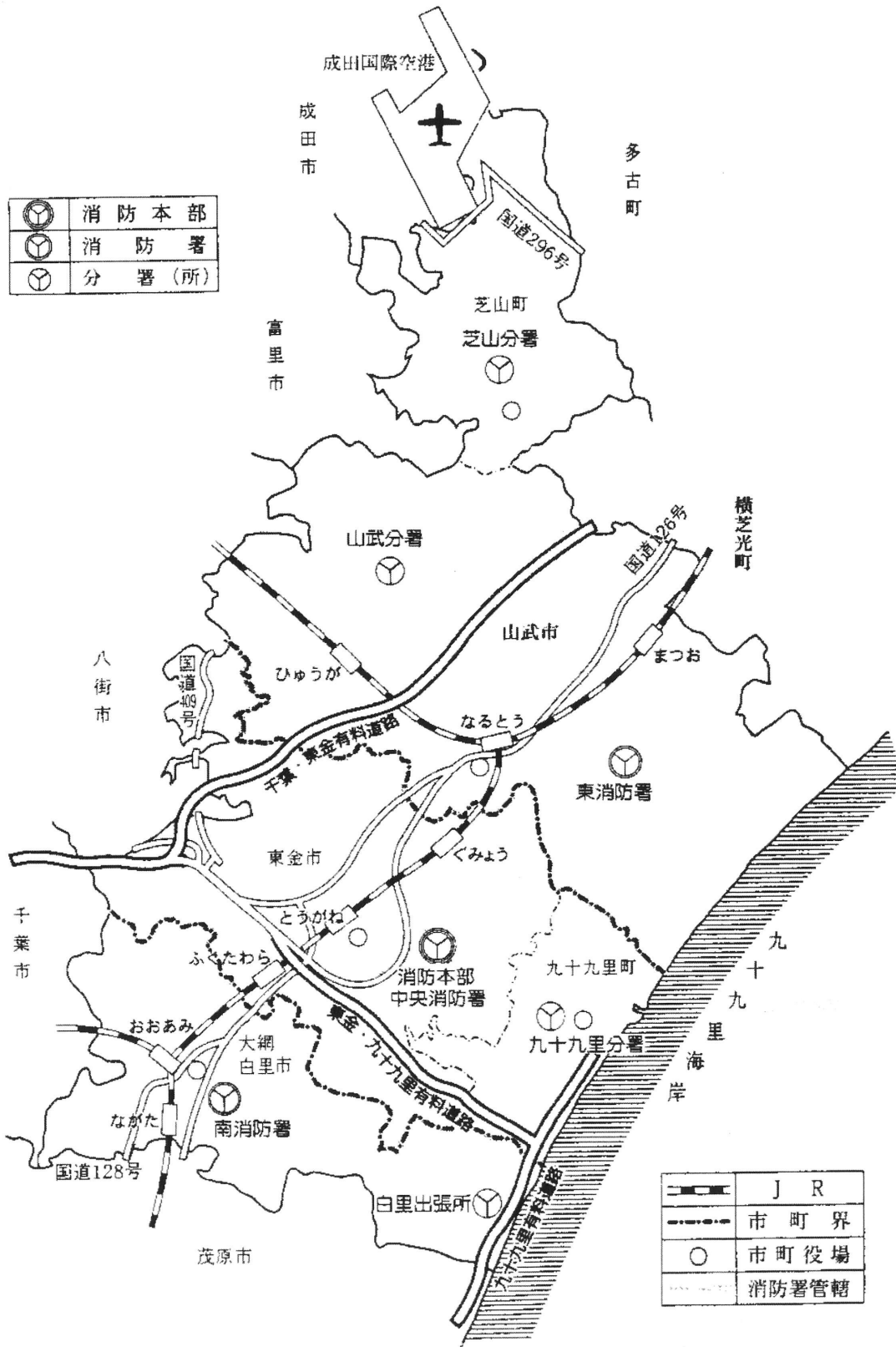
山武郡市は、千葉県の一部に位置し、九十九里平野の中央部と両総台地の一部からなっており、北は香取郡、匝瑳市及び成田市、西は八街市、富里市及び千葉市と接し、更に南は長生郡市に連なり、東方一帯は太平洋に面している。

地 勢

地形は、ほぼ矩形をなし、西高東低で東方一帯は緩く九十九里海岸は弓状の長浜となり、南西部から北西部に続く両総台地は、標高 40m から 100m の洪積台地で表面は、一般に関東ローム層に被われている。その中間の平野地帯は、主として低層泥炭地と旧砂丘とからなる洪積平野である。

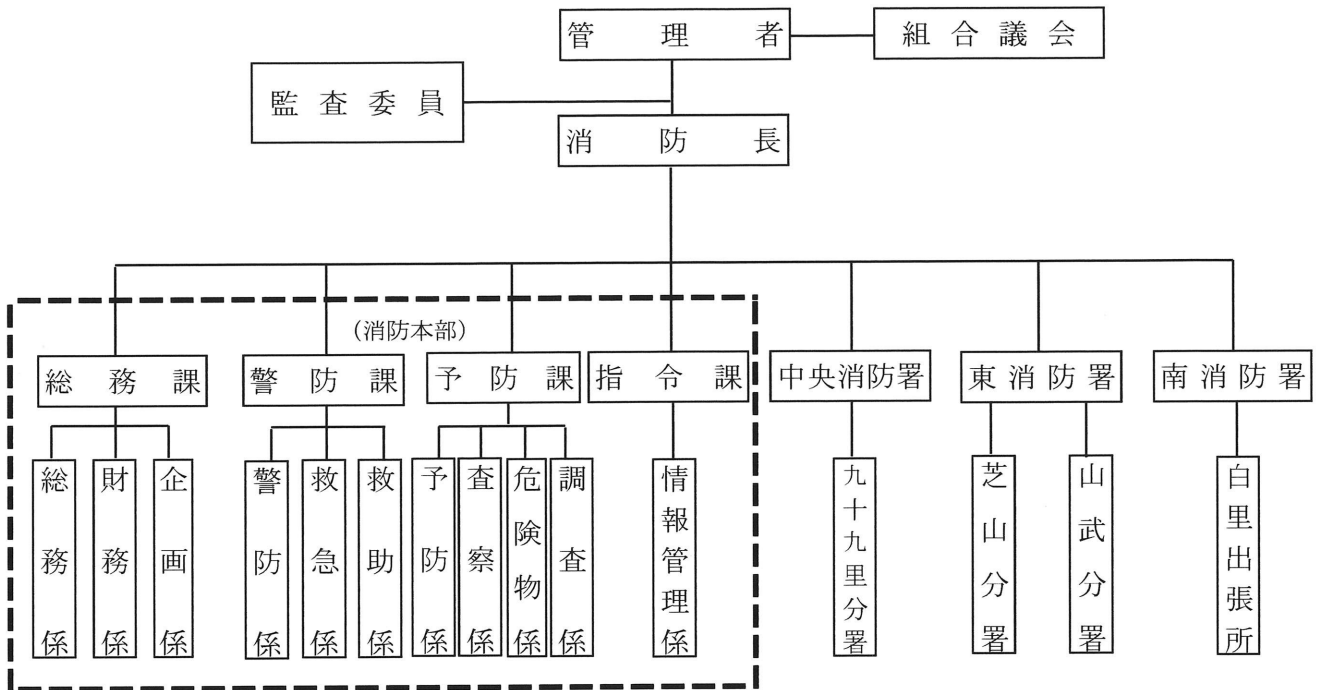


山武郡市広域行政組合消防分布図



消 防 組 織 図

(平成27年4月1日)



消 防 庁 舎 の 現 況

区分 施設名	所在地	建築 年月日	構造	延面積	敷地面積
消防本部 中央消防署	東金市家徳384-2	H24.2	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造4階建	3,679.03㎡	7,008.04㎡
東消防署	山武市上横地6710	S55.1	鉄筋コンクリート 一部2階建	532.00㎡	5,347.87㎡
南消防署	大網白里市富田861-1	S49.12	鉄筋コンクリート 一部2階建	372.10㎡	1,712.91㎡
九十九里分署	九十九里町片貝2520	S49.11	鉄筋コンクリート 一部2階建	372.10㎡	1,489.00㎡
芝山分署	芝山町宝馬233	H17.2	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨2階建	896.00㎡	3,642.09㎡
山武分署	山武市埴谷976-3	S50.6	鉄筋コンクリート 一部2階建	374.10㎡	1,330.26㎡
白里出張所	大網白里市南今泉4616-1	S61.12	鉄骨平屋建	130.01㎡	744.25㎡

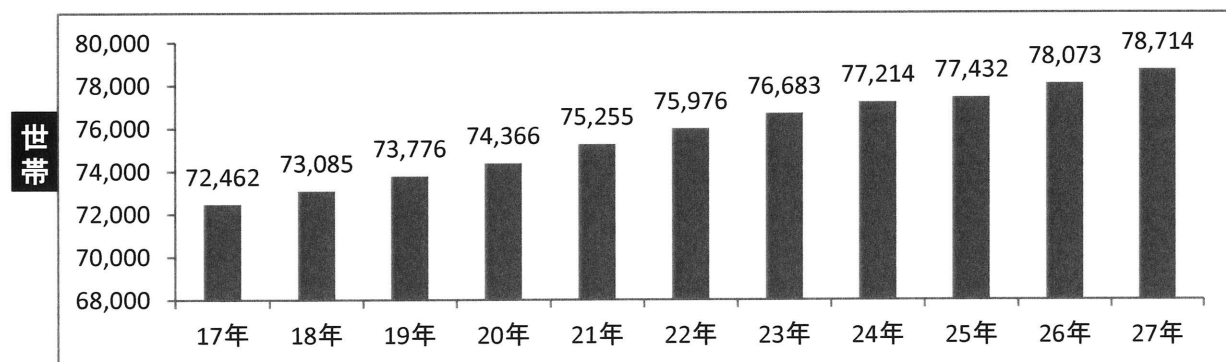
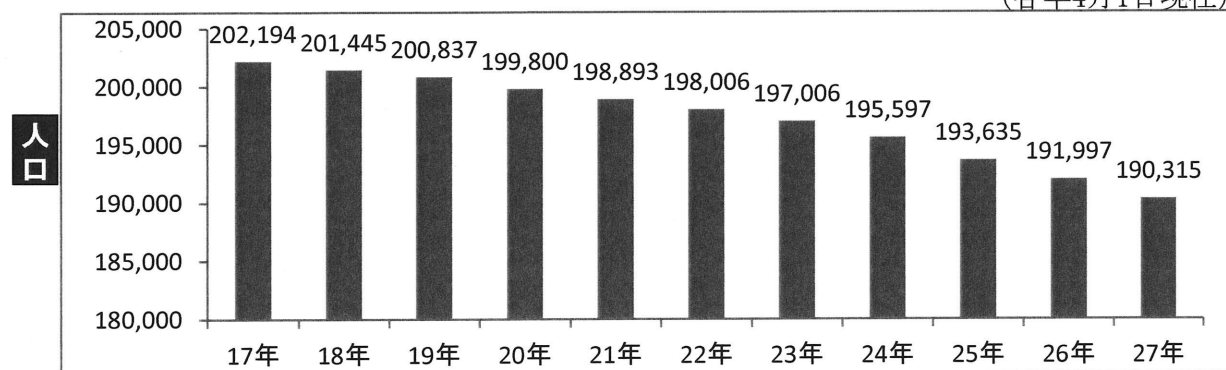
構成市町の概要

(平成27年4月1日現在)

市町名	面積(km ²)	人口(人)			世帯数(世帯)
		男	女	計	
東 金 市	89.12	29,855	30,346	60,201	25,732
山 武 市	146.77	27,276	27,318	54,594	21,968
大網白里市	58.08	25,043	25,531	50,574	20,859
九十九里町	24.45	8,493	8,810	17,303	7,246
芝 山 町	43.24	3,846	3,797	7,643	2,909
計	361.66	94,513	95,802	190,315	78,714

人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)



対象物との比率

(平成27年4月1日現在)

単 位	面 積(km ²)	人 口(人)	世帯数(世帯)
消 防 職 員 1 人 当 り	1.32	697.12	288.33
自 動 車 ポ ン プ 1 台 当 り	27.82	14,639.62	6,054.92

職員の定員と現員

(平成27年4月1日現在)

区分	階級	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その 他 の 職 員	計
定 員											278
現 員		1	7	10	40	110	35	9	61		273

職員の配置状況

(平成27年4月1日現在)

区 分	階 級	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計
本 部	消 防 長	1									1
	総 務 課		1	1	1	5	2				10
	警 防 課		1	1	3	4					9
	予 防 課		1	1		6	3		1		12
	指 令 課		1	1	2	8	1	1			14
署 所	中 央 消 防 署		1	1	7	25	10	5	15		64
	九 十 九 里 分 署			1	4	11		1	6		23
	東 消 防 署		1	1	6	15	3	1	13		40
	芝 山 分 署			1	4	9	4	1	7		26
	山 武 分 署			1	4	9	2		7		23
	南 消 防 署		1	1	7	13	7		11		40
	白 里 出 張 所				2	5	3		1		11
計		1	7	10	40	110	35	9	61		273

職員の階級別勤続年数

(平成27年4月1日現在)

年 数	階 級	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計
5 年 未 満								1	60		61
5年以上～10年未満						1	19	8	1		29
10年以上～15年未満						26	15				41
15年以上～20年未満						28					28
20年以上～25年未満					2	43					45
25年以上～30年未満				1	8	4					13
30 年 以 上		1	7	9	30	8	1				56
計		1	7	10	40	110	35	9	61		273

職員の階級別年齢

(平成27年4月1日現在)

年 齢	階 級	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計
18 歳 ～ 20 歳									18		18
21 歳 ～ 25 歳								1	36		37
26 歳 ～ 30 歳							16	7	7		30
31 歳 ～ 35 歳						17	15	1			33
36 歳 ～ 40 歳						56	3				59
41 歳 ～ 45 歳					4	28					32
46 歳 ～ 50 歳				1	5						6
51 歳 ～ 55 歳				6	21	2					29
56 歳 ～ 60 歳		1	7	3	10	7	1				29
計		1	7	10	40	110	35	9	61		273

消防学校等の主な研修

(平成27年4月1日現在)

年度別 区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (予 定)	
消 防 大 学 校	幹 部 科	1	1	1	1	1		
	上 級 幹 部 科							
	警 防 科			1				
	救 助 科					1		
	救 急 科							
	予 防 科	1						
	火 災 調 査 科				1			
	高度救助コース・ 特別高度救助コース						2	
県 消 防 学 校	初 任 科	5	5	12	13	15	15	
	特 殊 災 害 科	2	2	2	2	2	2	
	予 防 査 察 科	1				1		
	危 険 物 科					1		
	火 災 調 査 科	1	1				1	
	救 急 科	7	7	6	6	8	7	
	救 助 科	2	2	2	2	2	2	
	初 級 幹 部 科							
	中 級 幹 部 科							
	訓 練 指 導 科	2		2	2	2	2	
	は し ご 講 習	2	2	2	2	2	2	
	救急救命士処置範囲 拡大2行為追加講習						4	
そ の 他	救急救命士研修所	2	2	2	2	2	2	
	指導救命士養成研修					1		
	火災原因調査講習							
	行政組合職員研修	初 級 職 員 研 修	1	2	2	4	4	7
		中級職員基礎研修	2	2	2	2	2	2
		中級職員応用研修	2	2	2	2	2	2
		中堅職員基礎研修	1	2	2	1	2	2
		中堅職員応用研修	2	2		2	2	2
		管 理 職 員 研 修			1	1	1	1
		接 遇 セ ミ ナ ー	2				2	
		プレゼンテーション 研 修	2					
		メンタルヘルス セ ミ ナ ー						
		公 務 員 倫 理	2	2		2		
	県自治専門校研修	6	1	4	6	6	8	

職員各種資格取得状況

(平成27年4月1日現在)

階級 種別	消防司令長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
大型自動車運転免許	11	23	99	27	4	11	175
中型自動車運転免許			2	6	5	11	24
大型特殊運転免許	1	6	7		1	2	17
けん引運転免許		1	1				2
小型船舶免許		1	34	13	2	1	51
潜水士	1	2	8	4	1	1	17
陸上特殊無線技士	8	29	103	34	9	42	225
甲種危険物取扱者	1		2	1			4
乙種危険物取扱者 (1 ～ 6 類)	5	16	47	34	8	40	150
消防設備士甲種	1		1	1			3
消防設備士乙種	2	1	6	2			11
予防技術資格者	3	3	8	1			15
ガス溶接技能講習	9	24	57	8	1	4	103
アーク溶接技能講習	2	3	5	3		1	14
クレーン免許	1	3					4
小型移動式クレーン	8	16	38	9	2		73
玉掛技能講習	8	11	36	7	2		64
第2種酸素欠乏危険作業 主 任 者	2		5	5	1		13
第2種酸素欠乏危険作業 特 別 講 習		6	7				13
電気工事士(1種)	1		1				2
ボイラー技士			1				1
衛生管理者	1	3	3	1			8
救急救命士		7	24	5	3	1	40
ベーシックサーフ ライフセーバー			8	9			17

平成26年度 歳入歳出予算書（当初）

歳 入

（単位 千円）

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
1 分担金及び負担金	1 負 担 金	2,682,106	2,525,359	156,747
2 使用料及び手数料	2 手 数 料	2,214	1,800	414
3 国 県 支 出 金	1 国 県 補 助 金		13,115	△ 13,115
4 そ の 他		288,168	150,190	137,978
歳 入 合 計		2,972,488	2,690,464	282,024

歳 出

（単位 千円）

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
5 消 防 費	1 消 防 費	2,786,644	2,623,681	162,963
7 公 債 費	1 公 債 費	185,844	66,783	119,061
歳 出 合 計		2,972,488	2,690,464	282,024

構 成 市 町 負 担 金

（単位 千円）

区 分 市町名	議 員 数	本年度予算額	前年度予算額	比 較
東 金 市	2	730,084	689,525	40,559
山 武 市	2	906,881	850,984	55,897
大 網 白 里 市	2	614,489	585,841	28,648
九 十 九 里 町	2	279,174	262,618	16,556
芝 山 町	2	151,478	136,391	15,087
計	10	2,682,106	2,525,359	156,747

(平成26年12月31日現在)

※ 300m²以上の対象物数

(平成26年)

—17—

中高層防火対象物一覧表

(平成26年12月31日現在)

令別表項別		階数	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階	計
1	イ劇場、映画館、演芸場、観覧場																
	ロ公会堂、集会場	6	1														7
2	イキャバレー、カフェ、ナイトクラブの類																
	ロ遊技場、ダンスホール																
	ハ風俗営業等(総務省令で定めるもの)																
	ニカラオケボックス等(総務省令で定めるもの)																
3	イ待合、料理店の類																
	ロ飲食店	9	2														11
4	百貨店、マーケット、物品販売業	15	3			1											19
5	イ旅館、ホテル、宿泊所	9	4	4	1		1										19
	ロ寄宿舎、下宿、共同住宅	76	28	12	4	2	2	1	2				1	4	1		133
6	イ病院、診療所、助産所	10	8	4	1	1											24
	ロ社会福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	9	1	1													11
	ハ社会福祉施設等(ロ以外の社会福祉施設)																
	ニ幼稚園又は特別支援学校	3															3
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	44	23	5	2		1										75
8	図書館、博物館、美術館			1													1
9	イ蒸気浴場、熱気浴場																
	ロイに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場																
10	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場																
11	神社、寺院、教会の類	2															2
12	イ工場、作業場	37	6	5				2									50
	ロ映画スタジオ、テレビスタジオ																
13	イ自動車車庫、駐車場			1													1
	ロ飛行機又は回転翼航空機の格納庫																
14	倉庫	19	9	5	4		1										38
15	前各項に該当しない事業場	61	13	7												1	82
16	イ特定用途が存する複合用途防火対象物	47	14	3	1									1			66
	ロイに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	25	5			1	1							1			33
16の2	地下街																
16の3	地下道																
17	重要文化財、重要民俗資料、史跡等																
合 計		372	117	48	13	5	6	3	2				1	6	1	1	575

市町別中高層防火対象物数

(平成26年12月31日現在)

市町名	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	39階	計
東 金 市	199	55	23	3	3	2		2				1	1		289
山 武 市	76	26	9	1	1	2	1					2			118
大 網 白 里 市	48	21	3	5	1	1	1				1	3			84
九 十 九 里 町	24	3	1												28
芝 山 町	25	12	12	4		1	1							1	56
計	372	117	48	13	5	6	3	2			1	6	1	1	575

消防用設備等設置届出受理件数

(平成26年)

合 計																											369		
消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備		避 難 器 具	誘 導 灯		消 防 用 水		排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備			
64	15	26			2	2	4			130	2			16	25		5	75				1		2					

消防用設備等点検結果報告状況

(平成26年)

一		二				三		四	五		六				七	八	九		十	十一	十二		十三		十四	十五	十六		十六の二	十六の三	十七	合 計
イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ					イ	ロ		
劇場、映画館、観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他	遊技場又はダンスホール	風俗営業等（総務省令で定めるもの）	カラオケボックス等（総務省令で定めるもの）	待合、料理店、その他	飲食店	物品販売業を営む店舗	旅館、ホテル、その他	寄宿舎、下宿又は共同住宅	病院、診療所又は助産所	社会福祉施設等（自力避難困難者の入所施設等）	社会福祉施設等（ロ以外の社会福祉施設）	幼稚園又は特別支援学校	小学校、中学校、高等学校、その他	図書館、博物館、美術館、その他	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場、その他	イに掲げる公衆浴場以外	車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	神社、寺院、教会、その他	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前各項に該当しない事業所	特定用途が存する複合用途防火対象物	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	地下街	地下道	重要文化財	
3	31		14		2	1	48	177	31	116	34	61	76	31	80	4	1		2	1	119		4		85	118	47	6				1092

業態別建築同意件数

(平成26年)

令別表項別		年 別	22年	23年	24年	25年	26年
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		1			
	ロ	公会堂、集会場	7	3		2	
2	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブの類					
	ロ	遊技場、ダンスホール	1			1	
	ハ	風俗営業等(総務省令で定めるもの)					
	ニ	カラオケボックス等(総務省令で定めるもの)					
3	イ	待合、料理店の類		1			
	ロ	飲食店	18	10	6	8	5
4		百貨店、マーケット、物品販売業	9	19	9	19	17
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		3	2	1	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	3	7	2	13	3
6	イ	病院、診療所、助産所	1	3	4	6	2
	ロ	社会福祉施設等(自力避難困難者の入所施設等)	6	6	2	8	4
	ハ	社会福祉施設等(ロ以外の社会福祉施設)	6	10	11	3	3
	ニ	幼稚園又は特別支援学校					1
7		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	5	2	1	3	4
8		図書館、博物館、美術館	1	1			
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場					
11		神社、寺院、教会の類	5	4	3	6	3
12	イ	工場、作業場	12	18	16	19	20
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫、駐車場	14	7	12	12	10
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14		倉庫	45	26	50	60	58
15		前各項に該当しない事業場	42	48	42	66	54
16	イ	特定用途が存する複合用途防火対象物	3	1	4	3	5
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		2		3	3
16の2		地下街					
16の3		地下道					
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等					
		専用住宅	36	29	21	17	23
		仮設許可申請					
		計画変更申請	12	13	7		3
		仮使用承認申請	2	3			
		その他(許可通知書)	20	1		1	5
		合 計	248	218	192	251	224

防火対象物定期点検報告制度

(平成26年12月31日現在)

市町名 令別表項別			東	山	大	九	芝	合
			金	武	網	十	山	計
			市	市	白	九	町	
			里	里	里	里	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	
			市	市	市	町	町	

※特例認定制度は、防火対象物点検報告が義務付けられている防火対象物の管理権原者からの申請により、3年以上消防法令のうち火災予防に関する事項を遵守している防火対象物については、点検・報告に係る規定を適用しない。

危険物許認可等事務処理状況

(平成26年12月31日現在)

申 請 区 分	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	仮 使 用 承 認 申 請	設 置 完 成 検 査 申 請	変 更 完 成 検 査 申 請	完 成 検 査 前 検 査 申 請	譲 渡 ・ 引 渡 届 出	品 名 ・ 数 量 変 更 届 出	廃 止 届 出	保安監督者選任・解任届出	完成検査済証再交付申請	予防規程制定・変更申請	仮貯蔵・仮取扱い申請	資料提出（その1）	資料提出（その2）	資料提出（その3）	休止・再開届出	許可証等再交付申請	申請等取下げ届出	災害発生届出	その他	合 計
件数	7	19	11	7	22	13	6	16	14	30	1	6	6	22	7	40	1	2			3	233

危険物製造所等設置状況

(平成26年12月31日現在)

区 分 市 町 別 年 別 類 別		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				総 計
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
市町別対象数	東 金 市	13	41	28	1	29		16	23	138	36	2	23	61	212
	山 武 市	3	26	36	3	24		42	2	133	40		22	62	198
	大 網 白 里 市		2	8		9		4	2	25	19		5	24	49
	九 十 九 里 町	4	8	8	1	6		4	2	29	7		3	10	43
	芝 山 町	1	10	7		17		2	1	37	22		7	29	67
累年状況数	平成26年	21	87	87	5	85		68	30	362	124	2	60	186	569
	平成25年	21	89	91	6	85		68	31	370	123	2	60	185	576
	平成24年	21	90	90	6	102		69	31	388	129	2	66	197	606
類別数	単 独	第1類	1							1					1
		第2類								0					0
		第3類								0					0
		第4類	12	79	87	5	85		68	30	124	2	60	186	552
		第5類		2						2					2
		第6類								0					0
	混 在	9	5							5					14

※ 完成検査済施設数にて記入

通信指令システム機器一覧

(平成27年4月1日現在)

指令課情報管理室

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	情報共有端末装置	本体・ディスプレイ等	1式
	情報共有表示装置	65型ディスプレイ	1台
	車両運用表示盤	65型ディスプレイ	1台
	119ヘルプ機能用電話機		1台
	無停電電源装置		1台
	消防0Aシステム	情報連携装置	1台
	災害状況等自動案内装置	NTTテレトキー（10回線）	1台
	可搬型端末装置（指揮隊用）		4台
	ネットワーク設備	アクセスルータ等	2台
	ウェザーニュース気象観測装置	観測装置	1式
消防本部	現場画像伝送装置（受信用設備）	FOMA回線	1式
	自動気象観測装置	気象情報表示盤・観測装置	1式
	署所監視用装置（モニター用パソコン）	署所監視用カメラネットワーク中継	1台
	情報収集用TV	32インチTV	1台
	119迂回用電話機		2台
	衛星携帯電話		1台
県	千葉県防災行政無線システム	一斉受令端末装置・テレビ会議装置等	1式
	千葉県防災情報システム	防災情報システムパソコン・回転灯等	1式
市町関係	東金市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	山武市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	大網白里市防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	九十九里町防災行政無線	遠隔制御装置	1台
	芝山町防災行政無線	遠隔制御装置	1台

消防署・分署・出張所

	機器項目	構成機器	数量
指令センター関係	署所端末装置		7台
	無線指令受付装置		7台
	駆けつけ通報装置	駆けつけ通報電話機・監視カメラ	6式
	指令情報出力装置	本体・ディスプレイ等	7式
	無停電電源装置		7台
	署所用非常用発動発電機		5台
	車両運用表示盤	15車両用1台・8車両用6台	7台
	避雷装置	高速電源避雷器7台（高速回線避雷器1台）	7台

各車両

	機器項目	構成機器	数量
車両	車両運用端末装置（Ⅲ型）	ナビ・GPS付AVM装置	30台
	車両運用端末装置（Ⅱ型）	GPS付AVM装置	6台

消防救急無線施設の状況

(平成27年4月1日現在)

<消防救急デジタル無線システムの概要>

ちば消防共同指令センター 無線統制局 (千葉市消防局内)	無線回線制御装置	指令センターに配備され、各基地局の監視制御、基地局無線回線の制御、指令センター設備と無線通信回線の接続制御を行うための装置	
	無線統制卓	無線統制を行うため、指令系装置及び遠隔制御器より上位に位置し、通信統制に係る処理が優先される	
	基地局名	施設名	指定通信エリア
共通波基地局	県域消防長生	長生合同庁舎	東金市・大網白里市・九十九里町
	県域消防匝瑳	海匝土木事務所	山武市・芝山町
活動波基地局	県域消防山武	山武土木事務所	東金市・大網白里市・九十九里町
	県域消防山武芝山	芝山分署	山武市・芝山町
消防本部指令課情報管理室	遠隔制御器	管轄エリア内の消防救急車両等と無線通信を行うための装置	

<消防救急アナログ無線システムの概要>

アナログ基地局	既存基地局の全国共通波3波及び県内共通波無線装置を維持し、各移動局との無線通信を行う
---------	--

<所属別の無線通信設備等の状況>

区 分	所 属 別	消防本部	中央消防署	九十九里分署	東消防署	山武分署	芝山分署	南消防署	白里出張所	計
卓上型固定移動局無線装置 (D/A)		1								1
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭										
卓上型固定移動局無線装置 (A)		1								1
実装～⑫⑬⑭⑮										
車載型移動局無線装置 (D/A)		4	10	4	4	4	4	4	3	37
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭										
可搬型移動局無線装置 (D/A)		1	1	1	2	1	1	2	1	10
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭										
携帯型移動局無線装置 (D)		4	10	4	4	4	4	4	3	37
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪										
携帯型移動局無線装置 (A)		6	15	5	7	5	5	6	4	53
実装～⑫⑬⑭										
車載型受令機 (D)		4								4
実装～①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪										
署活動用トランシーバー		8	28	9	13	9	9	13	4	93

特記事項～ (D/A) はデジタル及びアナログ併用、(D) はデジタル、(A) アナログ

消防救急デジタル無線 (260MHz帯)

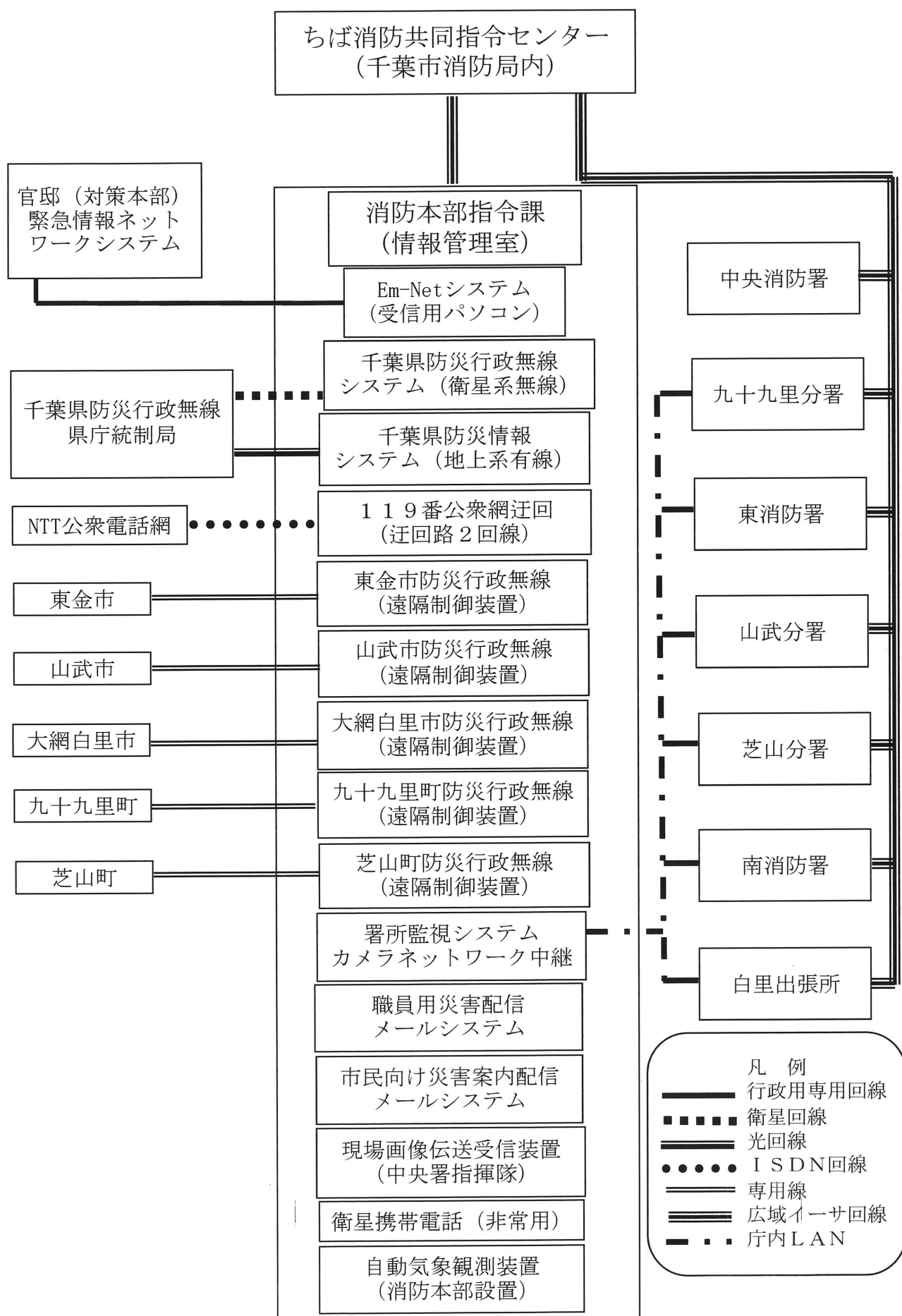
- ① 共通波 (統制波) 3波
- ② 共通波 (主運用波) 1波 (千葉県)
- ③ 共通波 (主運用波) 7波
- ④ 活動波 (山武郡市広域行政組合消防本部) 3波
- ⑤ 活動波 (千葉市消防局) 9波～隣接応援時
- ⑥ 活動波 (成田市消防本部) 4波～隣接応援時
- ⑦ 活動波 (富里市消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑧ 活動波 (長生郡市広域市町村圏組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑨ 活動波 (匝瑳市横芝光町消防組合消防本部) 2波～隣接応援時
- ⑩ 活動波 (香取広域市町村圏事務組合消防本部) 3波～隣接応援時
- ⑪ 活動波 (佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部) 4波～隣接応援時

消防救急アナログ無線 (150MHz帯)

- ⑫ 市町村波1波
- ⑬ 県内共通波1波
- ⑭ 全国共通波3波
- ⑮ 防災相互波1波

通信系統図（消防救急無線系を除く）

（平成27年4月1日現在）



無線従事者選任状況

(平成27年4月1日)

所 属 区 分	消 防 本 部	中 央 消 防 署	九 十 九 里 分 署	東 消 防 署	芝 山 分 署	山 武 分 署	南 消 防 署	白 里 出 張 所	合 計
選 任 者	36	54	19	29	19	19	30	7	213

119番着信状況

(平成26年)

項目 月別	災 害					問 合 せ	間 違 え	試 験	そ の 他	計
	火 災	救 急	救 助	そ の 他	続 報					
1月	21	768	7	98	60	250	48	25	88	1,365
2月	15	624	4	88	33	153	31	16	62	1,026
3月	12	676	6	59	31	166	44	35	61	1,090
4月	17	625	9	65	39	142	43	24	55	1,019
5月	12	717	4	67	40	171	35	19	50	1,115
6月	10	635	2	63	34	151	33	11	72	1,011
7月	11	739	9	74	43	187	44	14	61	1,182
8月	12	788	6	66	37	252	35	12	76	1,284
9月	9	704	5	59	27	148	30	29	73	1,084
10月	7	651	8	87	27	148	39	25	68	1,060
11月	7	680	6	72	31	184	45	19	80	1,124
12月	7	791	7	103	37	226	27	21	73	1,292
計	140	8,398	73	901	439	2,178	454	250	819	13,652

※ちば消防共同指令センター統計参照

気象情報受理状況

千葉県北東部調べ
(平成26年)

種別 月別	警 報								注 意 報																		
	大 雨	洪 水	大 雪	暴 風	暴 風 雨	波 浪	高 潮	暴 風 雪	計	大 雨	洪 水	大 雪	強 風	風 雪	波 浪	高 潮	濃 霧	雷 電	乾 燥	な だ れ	着 氷	着 雪	融 雪	霜	低 温	計	
1月									0				29		37			8	40								114
2月	4	5		3		15		1	28	3	3		32	5	38		4	16	14								115
3月									0				37		48			15	23						2		125
4月									0	1	1		12		32		1	17	23						11		98
5月									0	2	2		16		38		13	21	2								94
6月	10	5							15	31	32		15		34		50	74									236
7月	2	2				2			6	11	11		8		24		31	54									139
8月	6	5				7			18	6	8		14		36		13	35									112
9月	2	2							4	7	7		10		35		1	36	1								97
10月	7	7		7		10			31	5	7		15		35	10	4	20	1								97
11月									0	1	1		19		38		9	7	8								83
12月				2		2			4	2	2		31		54		5	11	31								136
計	31	26	0	12	0	36	0	1	106	69	74	0	238	5	449	10	131	314	143	0	0	0	0	0	13	0	1446

気 象 状 況

観測 中央消防署
(平成26年)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 ℃	最高	15.8	20.4	21.7	23.9	29.3	29.4	34.8	36.1	29.0	31.0	22.7	20.3
	最低	-3.6	-4.1	-2.2	0.9	9.4	17.3	18.5	17.8	14.2	5.4	4.1	-2.4
	平均	4.9	5.1	9.0	13.3	18.4	21.7	24.8	26.1	21.3	17.6	13.2	6.5
湿度 %	最高	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.3	98.0
	最低	26.3	30.2	21.9	19.1	30.5	43.3	53.6	42.7	49.7	36.9	35.2	31.3
	平均	67.4	73.4	71.8	74.7	81.0	89.9	88.5	86.6	85.7	85.4	82.5	73.0
最多風向		N	N	NNE	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	NE	NE	N	WSW
天候 日数	晴	21	15	17	20	21	13	20	16	16	14	16	24
	曇	4	8	8	3	4	5	4	7	7	7	5	1
	雨	5	4	6	7	6	12	7	8	7	10	9	6
	雪	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雨量mm		44.5	168.5	66.0	51.0	80.0	214.5	26.0	98.0	45.5	199.5	77.5	81.0

緊急通報取扱状況

(平成26年)

月別	覚知別 災害別	報 知 電 話	加 入 電 話	携 帯 電 話	警 察 電 話	そ の 他	計
1月	火 災	10	1	14	2		27
	救 急	610	9	266	22	10	917
	そ の 他	6	1	8	5	3	23
2月	火 災	5	1	10		1	17
	救 急	453	9	244	16	14	736
	そ の 他	9	1	6	3	10	29
3月	火 災	6		9			15
	救 急	485	9	236	33	13	776
	そ の 他	2		5	5	3	15
4月	火 災	8	2	6	1		17
	救 急	447	9	238	18	12	724
	そ の 他	4		16	3	2	25
5月	火 災	7		7	2	1	17
	救 急	527	7	252	18	12	816
	そ の 他	5	2	4	2	1	14
6月	火 災	5		5			10
	救 急	480	7	226	19	13	745
	そ の 他	10	2	8	4	1	25
7月	火 災	10		6	1		17
	救 急	538	12	278	15	15	858
	そ の 他	5	3	10	4	2	24
8月	火 災	6		7	1		14
	救 急	552	17	303	24	13	909
	そ の 他	5		7	1	1	14
9月	火 災	2		8	1		11
	救 急	511	6	244	13	11	785
	そ の 他	4	1	10	3	2	20
10月	火 災	7		3	3		13
	救 急	462	9	249	18	6	744
	そ の 他	14	2	11	3	1	31
11月	火 災	3	2	2	1		8
	救 急	501	4	248	15	7	775
	そ の 他	8	1	8	4		21
12月	火 災	4		4	3		11
	救 急	564	8	325	24	7	928
	そ の 他	11	2	12	7	1	33
計	火 災	73	6	81	15	2	177
	救 急	6,130	106	3,109	235	133	9,713
	そ の 他	83	15	105	44	27	274

消 防 自 動 車 等 の 配 置 状 況

(平成27年4月1日現在)

	車 名	車 両 番 号	車 種	年 式	級 別	出 力	年 式
消防本部	指 令 車	千33 て1034	トヨタ	91		2,490	平成 3年
	連 絡 車	千500 も6855	三菱	01		1,460	平成13年
	連 絡 車	千54 ち7978	トヨタ	94		1,330	平成 6年
	連 絡 車	千500 ふ3019	トヨタ	00		1,490	平成12年
	連 絡 車	千562 に・・55	ニッサン	15		1,990	平成27年
	予 防 査 察 車	千800 す4360	ニッサン	02		1,990	平成14年
	広 報 車	千501 な5162	ニッサン	03		1,990	平成15年
	広 報 車	千80 あ・550	三菱	94		650	平成 6年
	指 揮 統 制 車	千800 さ2586	トヨタ	99		2,980	平成11年
	調 査 車	千800 さ8060	マツダ	00		1,990	平成12年
	高規格救急車	千830 さ8752	トヨタ	06		2,690	平成18年
	資機材搬送車	千88 せ1311	ニッサン	95		1,780	平成 7年
	マイクロバス	千22 さ8995	トヨタ	97		4,160	平成 9年
中央消防署管内	指 揮 車	千800 さ4461	トヨタ	99		1,990	平成11年
	水槽付ポンプ車	千800 す2251	いすゞ	01	A-2	8,220	平成13年
	消防ポンプ車	千830 す1191	日 野	15	A-2	4,000	平成27年
	救助工作車Ⅱ型	千88 に6278	いすゞ	97		8,220	平成 9年
	化学車Ⅱ型	千830 せ1192	日 野	15	A-2	6,400	平成27年
	梯 子 車	千88 に5601	日 野	93		17,230	平成 5年
	支 援 車	千830 さ3640	日 野	13		6,400	平成25年
	高規格救急車	千830 せ2500	トヨタ	12		2,690	平成24年
	高規格救急車	千830 す2501	トヨタ	14		2,690	平成26年
	連 絡 車	千502 み5327	ニッサン	13		1,990	平成25年
	水槽付ポンプ車	千831 ほ・119	いすゞ	08	A-2	5,190	平成20年
	水槽付ポンプ車	千88 さ8136	いすゞ	93	A-2	7,120	平成 5年
	高規格救急車	千830 さ4550	トヨタ	06		2,690	平成18年
	指 揮 支 援 車	千88 せ2861	トヨタ	96		1,990	平成 8年
	指 揮 車	成800 さ1460	トヨタ	14		2,690	平成26年
	水槽付ポンプ車	千800 す9748	いすゞ	04	A-2	7,160	平成16年
	水槽付ポンプ車	千88 に6031	日 野	95	A-2	7,960	平成 7年
	高規格救急車	成830 す3119	トヨタ	14		2,690	平成26年
	連 絡 車	成500 そ8382	ニッサン	13		1,990	平成25年
東消防署管内	水槽付ポンプ車	千800 さ5927	いすゞ	00	A-2	8,220	平成12年
	化学車Ⅱ型	成830 そ・119	いすゞ	08	A-2	5,190	平成20年
	高規格救急車	成830 さ1412	トヨタ	09		2,690	平成21年
	指 揮 支 援 車	千88 せ1453	トヨタ	95		1,990	平成 7年
	水槽付ポンプ車	千800 さ9801	いすゞ	01	A-2	8,220	平成13年
	水槽付ポンプ車	千800 は1417	いすゞ	06	A-2	7,160	平成18年
	高規格救急車	千830 た 911	トヨタ	05		3,370	平成17年
	指 揮 支 援 車	千88 せ5734	トヨタ	97		1,990	平成 9年
	指 揮 車	千88 せ1452	トヨタ	95		1,990	平成 7年
	水槽付ポンプ車	千800 す5604	いすゞ	03	A-2	8,220	平成15年
	消防ポンプ車	千830 す3208	日 野	14	A-2	4,000	平成26年
	高規格救急車	千830 さ3208	トヨタ	13		2,690	平成25年
	連 絡 車	千502 み5326	ニッサン	13		1,990	平成25年
南消防署管内	消防ポンプ車	千830 さ2030	いすゞ	11	A-2	2,990	平成23年
	救 急 車	千800 す9760	トヨタ	04		3,370	平成16年
	連 絡 車	千80 あ・551	三菱	94		650	平成 6年

消防機材配置状況

(平成27年4月1日現在)

区分	機材名	所 属						計	区分	機材名	所 属						計
		中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署	南消防署				中央消防署	九十九里分署	東消防署	芝山分署	山武分署	南消防署	
一般救助器具都市型救助器具	三連梯子	5	2	2	2	2	3	17	測定器具呼吸器保護器具	可燃性ガス測定器	4	2	3	2	2	2	16
	かぎ付梯子	5	1	2	2	2	1	13		有毒ガス測定器	2		1			1	4
	金属製折りたたみ梯子	1						1		放射線測定器	5		2				8
	ワイヤー梯子	1						1		個人線量計	7	1	8	1	1	4	23
	救命索発射銃	1		1			1	3		検電器	3		2			1	6
	縛帯	5		3	3	2	4	17		空気呼吸器	29	9	13	8	9	12	84
	サバイバースリング	3		1			1	5		空気ボンベv8.0(15Mp)	32	3	14	7	6	17	80
	平担架	3		1			1	5		〃 v8.4(15Mp)軽量		1		1	7	3	12
	バスケット担架	1		1	1	1	1	5		〃 v4.7(30Mp)軽量	8		4			5	17
	滑車	14		13	9	7	7	50		〃 v6.8(30Mp)軽量	33	13	15	18	6	14	107
	緩降機	1					1	2		〃 v9.0(30Mp)軽量	12						12
	ソフトランディング			1			1	2		〃 v10.0(15Mp)	3		2		2		7
	航空機災害用担架			50	90			140		〃 v50.0(15Mp)							0
	テープスリング60cm	4		2			2	8		酸素呼吸器			1				1
	テープスリング80cm	4		4			4	12		酸素ボンベv1.5(200ℓ)	16		6				22
	テープスリング120cm	4		4			4	12		〃 v2.0(300ℓ)	20	3	10	3	4	3	45
	テープスリング150cm	4		2			2	8		〃 v3.4(500ℓ)	8		4				12
	アッセンション	2		2			3	7		〃 v6.9(1000ℓ)	2						2
	アンカープレート	2		2			2	6		〃 v10.3(1500ℓ)	30	2	17	3	3	2	59
	ハーネス	4		3			3	10		簡易呼吸器	6		3				9
	ベルトスリング3m	1		1			1	3		防塵マスク	5		4				9
	ベルトスリング5m	2		1			1	4		送排風器	3						3
	ベルトスリング10m	1		1			1	3		エアーライン	1						1
	シングルプーリー						6	6									
	ダブルプーリー						4	4									
	ブレーキパーラック						1	1									
	ウェビングテープ(緑1.5m)	3						3									
	ウェビングテープ(黄3.6m)	3						3									
	ウェビングテープ(青4.5m)	3						3									
	ウェビングテープ(オレンジ6m)	3						3									
	ウェビングテープ(赤7.5m)	3						3									
	ロードリリースストラップ	1						1									
排除器具	油圧救助器具	1		1				2	検査器具水難救助器具	赤外線熱画像カメラ	2		1			1	4
	マット型空気ジャッキ	6		4	3	3	5	21		簡易画像探索器	1						1
	マンホール救助器具	1		1			1	3		ファイバースコープ	1						1
	可搬式ウインチ	1	2	2	1	1	2	9		信号付投光器	2						2
	チェーンブロック	1						1		ウェットスーツ	9	2	4			4	21
	スリングワイヤー	16	3	7	7	10	12	58		水難用ヘルメット	6		4			4	14
	エンジンカッター	4	2	3	3	3	3	19		水難用手袋	5	2	4			4	15
	チェーンソー	4	1	2	2	3	1	14		水難用ブーツ	6	2	4			4	16
	アセチレンガス溶断器	1		1				2		レスキューボード	1	1					2
	油圧カッター	1		1			1	3		レスキューチューブ	3	2	3			2	11
切断用器具	エアークッター	1					1	2	救助器具	救命胴衣	20	8	17	7	6	7	68
	鉄線カッター	5	1	4	1	2	2	16		拡張ボート	2		2			2	6
	エアースー	1		1	1	1	1	5		救命浮環	4	5	6	2	3	3	24
	アークエアー	1						1		スバリ	4	3	2	2	2	4	17
	エンジンポンプ	1	1	1	1	1	1	6		水中眼鏡	4	2	4			3	15
	電動ポンプ	1						1		コード付水中ライト	1						1
	ハンドポンプ	1		1				2		浮きロープ	1	3	2	1	2	2	12
	スプレッダー	1		1			1	3		除染シャワー	1						1
	プランジャーラム	1		1			1	3		除染剤散布器	1						1
	コンビネーションツール	1	1	1	1	1	1	5		ジェットシューター	16	4	8	8	9	7	56
破壊器具	万能斧	13	3	4	2	3	3	29	その他	ウォーターチャージャー	1	1	1	1	1	1	6
	削岩機	1		1				2		エアフォームノズル	5	2	3	3	2	1	17
	携帯用コンクリート破壊器具	1						1		簡易発泡器		2	1	1	1	1	6
	電気ハンマードリル	1						1		中発泡器	1						1
	大ハンマー	8	2	1	1	1	2	16		ラインプロポーションナー	4	2	3	2	2	1	15
	防毒マスク	10						10		携帯用ハンドマイク	9	3	6	4	2	3	28
	放射線防護服	2						2		フオグガン	3	6	3	4	3	2	23
	陽圧式化学防護服	4						4		発電式投光器一式	4	2	5	2	2	4	20
	耐熱服	5			2			7		エアーテント	3						3
	耐電衣・上下	10		5			5	20		合成界面活性剤発泡消火薬剤	49	3	2	66	4		127
保護用具	耐電手袋	13	2	6	2	2	8	34	その他	水成膜泡消火薬剤	36		4	65	2	3	110
	耐電長靴	10	2	5	2	2	5	27		船外機	1						1
	安全帯	22		6	4	5	3	40		エコファイターノズル	2					2	4
	蛍光チョッキ	30	10	12	15	8	6	85		ガンタイプノズル(クアドラ)	4					2	6
	防塵メガネ	6						6		ミラクルフォーム	31					31	62
	携帯警報器	13		8			8	29									

消 防 団 員 数

(平成27年4月1日現在)

市町名 階 級		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
団	長	1	1	1	1	1	5
副	団 長	9	7	5	5	4	30
分	団 長	7	30	4	15	21	77
副	分 団 長	14	13	4	8	7	46
部	長	16	47	12	19	20	114
班	長	30	94	27	133	60	344
団	員	440	647	414	171	156	1,828
計		517	839	467	352	269	2,444

消 防 団 車 両 数

(平成27年4月1日現在)

市町名 車 種		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
指	揮 車	1	4	1	1	1	8
水	槽 付 ポンプ車	12	10	13	8	6	49
普	通 ポンプ車		6		7	1	14
積	載 ポンプ車	18	12	14	4	13	61
電	源 照 明 車		1				1
水	槽 車	1	19			1	21
資	材 車	1			1		2
広	報 車		1	1		1	3
消	防 緊 急 自 動 二 輪	3	3				6
計		36	56	29	21	23	165

管 内 消 防 水 利 一 覧 表

(平成27年4月1日現在)

市町名 種 別		東 金 市	山 武 市	大網白里市	九十九里町	芝 山 町	計
消	火 栓	748	909	755	212	64	2,688
貯 水 槽	40 m ³ 以 上	141	372	211	37	250	1,011
	40 m ³ 未 満	351	483	7	56	51	948
貯	水 池		11	14		1	26
河	川	4	12	46		2	64
プ	ー ル	10	18	10	4	2	44
消	火 井 戸	74	8		337	2	421
計		1,328	1,813	1,043	646	372	5,202

消 防 機 関 の 出 動 状 況

(平成26年)

区分		種別	計	火 災	風水害等 の 災 害	演 習 ・ 訓 練 等	救 急	救助活動	広 報 ・ 指 導
消 防 本 部	出 動 回 数		387			3			13
	出 動 延 人 員		836			8			29
中 央 署 管 内	出 動 回 数		5,738	44	2	14	4,511	51	94
	出 動 延 人 員		19,622	532	8	205	13,112	539	520
東 署 管 内	出 動 回 数		3,970	49	10	4	2,825	35	148
	出 動 延 人 員		14,162	478	54	25	8,472	456	668
南 署 管 内	出 動 回 数		3,559	20	3	1	2,797	27	65
	出 動 延 人 員		11,831	172	13	5	8,645	280	269
合 計	出 動 回 数		13,654	113	15	22	10,133	113	320
	出 動 延 人 員		46,451	1,182	75	243	30,229	1,275	1,486

区分		種別	警防調査	火災調査	特別警戒	搜索	予防査察	誤報	その他
消 防 本 部	出 動 回 数		3	65			302		1
	出 動 延 人 員		8	159			630		2
中 央 署 管 内	出 動 回 数		21	27	15		194	107	658
	出 動 延 人 員		89	119	46		885	960	2,607
東 署 管 内	出 動 回 数		111	20	22		123	72	551
	出 動 延 人 員		439	98	90		609	524	2,249
南 署 管 内	出 動 回 数		134	6	4		88	17	397
	出 動 延 人 員		441	17	15		380	69	1,525
合 計	出 動 回 数		269	118	41	0	707	196	1,607
	出 動 延 人 員		977	393	151	0	2,504	1,553	6,383

救急活動状況と過去5年間の比較

区分	年 別	22	23	24	25	26
事故種別						
出場件数	計	8,830	9,138	9,465	9,867	10,133
	火災	101	115	98	98	66
	自然災害	2	12		8	4
	水難	26	21	28	41	17
	交通事故	1,229	1,113	1,169	1,062	1,003
	労働災害	90	112	101	95	107
	運動競技	47	49	65	56	62
	一般負傷	1,076	1,138	1,157	1,317	1,349
	加害	78	66	60	73	80
	自損行為	150	162	124	145	132
	急病	5,285	5,615	5,831	6,185	6,287
	その他の	746	735	832	787	1,026
	(上記のうち不搬送)	1,120	1,158	1,227	1,455	1,540
搬送人員	計	7,871	8,138	8,403	8,574	8,727
	火災	15	10	18	12	15
	自然災害		9		1	1
	水難	7	7	11	6	5
	交通事故	1,194	1,089	1,138	1,060	949
	労働災害	85	108	101	93	104
	運動競技	47	49	58	53	62
	一般負傷	935	1,022	1,048	1,142	1,190
	加害	60	48	45	52	55
	自損行為	101	106	77	98	85
	急病	4,695	4,968	5,089	5,316	5,358
	その他の	732	722	818	741	903
一日平均	出場件数	24.2	25.0	25.9	27.0	27.8
	搬送人員	21.6	22.3	23.0	23.5	23.9
月平均	出場件数	735.8	761.5	788.8	822.3	844.4
	搬送人員	655.9	678.2	700.3	714.5	727.3

救急講習会実施状況

種 別	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
年 別						
平成7年～平成23年	813	17,647	39	788	522	17,847
平成24年	72	1,183	7	173	39	2,697
平成25年	86	1,368	7	195	51	2,910
平成26年	80	1,572	5	173	57	2,361
合 計	1,051	21,770	58	1,329	669	25,815

救急隊別出場状況

(平成26年)

事故種別 救急隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
中央消防署 第1救急隊	10		2	176	24	18	181	16	24	915	163	1,529
第2救急隊	10			190	15	18	199	15	21	943	180	1,591
九十九里分署	14		9	123	13	4	190	12	21	848	157	1,391
東 消 防 署	8	1	2	141	13	7	176	8	15	850	112	1,333
芝 山 分 署	8			62	11	3	75	7	9	377	58	610
山 武 分 署	10	2		77	14	5	121	5	6	603	39	882
南 消 防 署	6	1	2	158	10	5	239	14	27	1,121	279	1,862
白里出張所			2	76	7	2	168	3	9	630	38	935
計	66	4	17	1,003	107	62	1,349	80	132	6,287	1,026	10,133

市町別救急発生状況

(平成26年)

事故種別 市町別	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
東 金 市	18 1	1	3	352 31	42	26	410 2	31 1	42	2,054 4	436 1	3,415 40
山 武 市	19 3	3	3	243 27	31 1	21 1	345	14 1	32	1,692 1	179 1	2,582 35
大網白里市	8		1	177 32	11	5	339 1	13	37 1	1,537 30	187 1	2,315 65
九十九里町	8		9 1	74 10	15	6 1	188 1	13	13	672 11	159	1,157 24
芝 山 町	8 1			50 4	7	2	60	7	5	265 3	60	464 8
管 外				2 1			3		2	18	2	27 1
計	61 5	4 0	16 1	898 105	106 1	60 2	1,345 4	78 2	131 1	6,238 49	1,023 3	9,960 173

※ 下段は、応援出動のため計上せず

月別救急出場状況

(平成26年)

月別	事故種別 件数(人)		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
	出動件数	搬送人員											
1	出動件数	966	12			88	8	4	117	4	12	645	76
	救急件数	784	2			70	8	3	101	2	7	522	69
	搬送人員	799	2			85	8	3	101	2	7	522	69
2	出動件数	774	6	2	1	68	7	2	116	2	2	504	64
	救急件数	626	2			50	7	2	99	2	2	406	56
	搬送人員	633	2			56	7	2	100	2	2	406	56
3	出動件数	805	8		2	72	7	5	110	14	8	519	60
	救急件数	668	2			62	7	5	96	10	3	431	52
	搬送人員	680	2			72	7	5	96	11	3	432	52
4	出動件数	769	7		2	105	9	2	93	6	15	456	74
	救急件数	655	1		2	92	9	2	82	4	7	388	68
	搬送人員	673	1		2	109	9	2	83	4	7	388	68
5	出動件数	848	12			86	13	4	107	8	15	519	84
	救急件数	730	2			72	13	4	97	5	10	449	78
	搬送人員	743	4			83	13	4	97	5	10	449	78
6	出動件数	772	2	1	2	73	10	8	106	9	13	459	89
	救急件数	673			1	62	10	8	101	6	8	402	75
	搬送人員	683			1	70	10	8	102	7	8	402	75
7	出動件数	883	4		2	81	12	6	116	6	13	549	94
	救急件数	766			1	69	10	6	96	3	11	494	76
	搬送人員	773			1	75	10	6	97	3	11	494	76
8	出動件数	946	6			98	7	11	137	9	13	554	111
	救急件数	825	1			78	7	11	121	4	12	491	100
	搬送人員	847	1			96	7	12	123	4	12	492	100
9	出動件数	805	5			75	7	8	131	3	10	467	99
	救急件数	712	1			66	6	8	120	3	8	407	93
	搬送人員	720	1			74	6	8	120	3	8	407	93
10	出動件数	778		1	3	86	7	3	102	2	10	483	81
	救急件数	651		1		70	7	3	90	2	4	405	69
	搬送人員	660		1		79	7	3	90	2	4	405	69
11	出動件数	811	3		3	79	12	4	109	7	12	502	80
	救急件数	679	1			66	12	4	95	3	6	425	67
	搬送人員	683	1			70	12	4	95	3	6	425	67
12	出動件数	976	1		2	92	8	5	105	10	9	630	114
	救急件数	824	1		1	71	8	5	86	9	7	536	100
	搬送人員	833	1		1	80	8	5	86	9	7	536	100
合計	出動件数	10,133	66	4	17	1,003	107	62	1,349	80	132	6,287	1,026
	救急件数	8,593	13	1	5	828	104	61	1,184	53	85	5,356	903
	搬送人員	8,727	15	1	5	949	104	62	1,190	55	85	5,358	903
搬送者程度	死亡	183			2	5			11		10	153	2
	重症	873	3	1	1	43	12	3	54		10	530	216
	中等症	3,861	3		1	167	54	15	470	9	39	2,500	603
	軽症	3,810	9		1	734	38	44	655	46	26	2,175	82
	その他	0											
計		8,727	15	1	5	949	104	62	1,190	55	85	5,358	903

曜 日 別 救 急 出 場 状 況

(平成26年)

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
曜 日 別	月	9	1		133	19	5	211	12	17	971	175	1,553
	火	10		1	136	22	5	173	12	20	884	167	1,430
	水	11		5	149	18	9	173	11	16	847	162	1,401
	木	7		2	152	15	3	196	7	17	864	144	1,407
	金	3		1	129	11	11	175	9	23	862	165	1,389
	土	16	3	5	164	15	14	216	6	20	895	135	1,489
	日	10		3	140	7	15	205	23	19	964	78	1,464
	計	66	4	17	1,003	107	62	1,349	80	132	6,287	1,026	10,133

管 内 管 外 搬 送 人 員

(平成26年)

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
管内に住所を有する者		15	1	2	675	52	28	1,014	49	76	4,924	724	7,560
管外に住所を有する者				3	274	52	34	174	6	9	431	179	1,162
そ の 他								2			3		5
計		15	1	5	949	104	62	1,190	55	85	5,358	903	8,727

事故種別年齢区分別搬送人員

(平成26年)

事故種別 年齢区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児								1			4	6	11
乳 幼 児		1			22			109			212	21	365
少 年		1		1	88		43	59	3	3	126	13	337
成 人		7		1	631	89	17	323	41	70	1,873	281	3,333
老 人		6	1	3	208	15	2	698	11	12	3,143	582	4,681
計		15	1	5	949	104	62	1,190	55	85	5,358	903	8,727

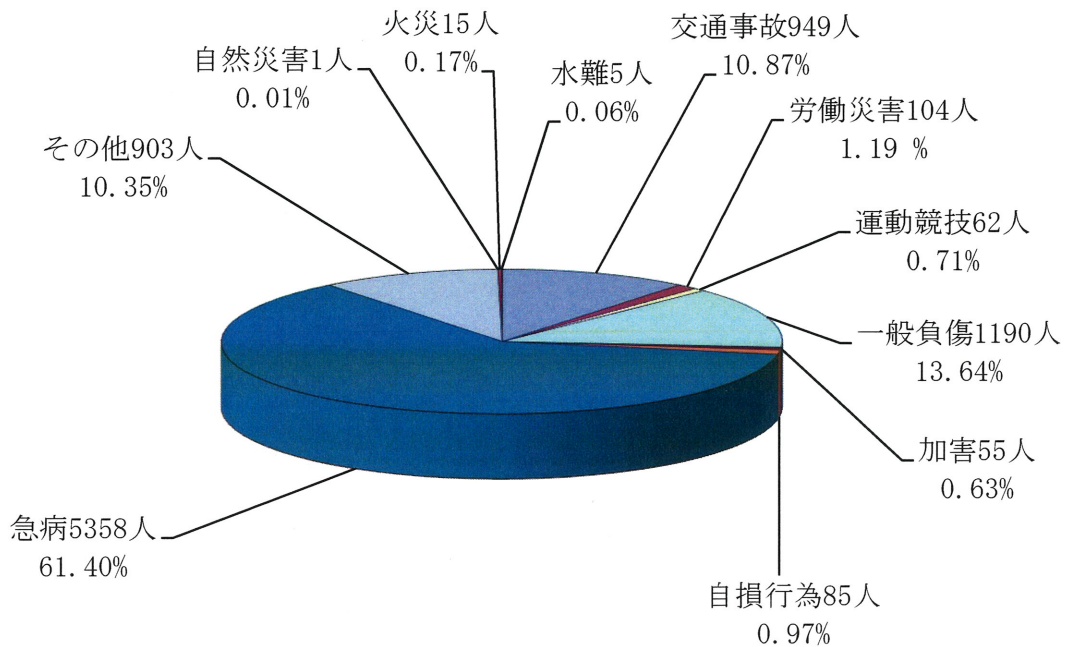
事故種別傷病程度別搬送人員

(平成26年)

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡			2	5			11		10	153	2	183
重 症	3	1	1	43	12	3	54		10	530	216	873
中 等 症	3		1	167	54	15	470	9	39	2,500	603	3,861
軽 症	9		1	734	38	44	655	46	26	2,175	82	3,810
そ の 他												0
計	15	1	5	949	104	62	1,190	55	85	5,358	903	8,727

事 故 種 別 搬 送 人 員

総搬送人員 8,727人



時間別救急出場状況

(平成26年)

事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
区分												
計	66	4	17	1,003	107	62	1,349	80	132	6,287	1,026	10,133
時間別												
0～2	1			41	3		42	9	5	331	28	460
2～4	1			13			40	4	3	315	19	395
4～6	6	1	1	22	2		32	7	9	331	11	422
6～8	2		2	107	3		97	2	16	521	18	768
8～10	6	1		109	18	5	189	3	15	710	129	1,185
10～12	7	1	4	103	29	23	169	6	17	612	225	1,196
12～14	7		2	92	22	11	155	3	6	609	193	1,100
14～16	4		4	122	18	12	139	6	9	545	144	1,003
16～18	12		2	160	7	7	166	11	19	601	123	1,108
18～20	7		1	121	1	2	132	3	10	607	71	955
20～22	7		1	73		2	114	13	11	602	32	855
22～24	6	1		40	4		74	13	12	503	33	686

事故種別応急処置状況

(平成26年)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	5,351	946	1,182	1,223	8,702
止血	47	40	103	41	231
固定	55	400	137	77	669
人工呼吸	33	2	3	7	45
心マッサージ	12			3	15
心肺蘇生	202	10	14	16	242
酸素吸入	1,255	76	65	384	1,780
気道確保	301	13	20	28	362
うち経鼻エアウェイ	11	2		1	14
喉頭鏡・鉗子等による異物除去			2		2
※ラリングアルマスク等	55	2	6	3	66
※気管挿管	1		1		2
保温	1,002	100	150	195	1,447
被覆	23	161	343	86	613
在宅療法継続	1				1
ショックパンツによる血圧保	1				1
※除細動	34			2	36
※静脈路確保	148	4	9	8	169
※薬剤投与	56	2	2	4	64
その他の応急処置	5,089	857	1,124	1,173	8,243
血圧測定	5,025	927	1,109	1,184	8,245
聴診器による心音・呼吸音等	851	186	112	119	1,268
血中酸素飽和度の測定	5,159	934	1,157	1,198	8,448
心電図	2,942	119	167	538	3,766

※は救急救命士が行う特定行為

市町別ドクターヘリ出動件数一覧表

事故種別 市 町 別		救 急 事 故 種 別															
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 技	一 般 傷	加 害	自 損 為	急 病	そ の 他				合 計	
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他		
平成 24 年中	東 金 市				13	5		1	1		17	1				38	
	山 武 市	旧成東町	1		1	5			3		1	7	1				19
		旧松尾町				4	1				1	2					8
		旧山武町				2			1			10					13
		旧蓮沼村				2	1					4					7
		大網白里市				9	2		4			18					33
	九十九里町	3			1	1					9					14	
	芝 山 町				2	1					5					8	
	管 外															0	
	計	4	0	1	38	11	0	9	1	2	72	2	0	0	0	140	
平成 25 年中	東 金 市				10	2		3			30	4				49	
	山 武 市	旧成東町			1	8	2		2		1	17	1				32
		旧松尾町				1			3		1	6					11
		旧山武町	1			3	1		5			8					18
		旧蓮沼村			1	2					1	6					10
		大網白里市				5	3	1	7			10	1				27
	九十九里町				2	2		4		2	5	2				17	
	芝 山 町				2			2			1					5	
	管 外																
	計	1	0	2	33	10	1	26	0	5	83	8	0	0	0	169	
平成 26 年中	東 金 市				4	7		6		2	16	2				37	
	山 武 市	旧成東町				4	2		2			9	1				18
		旧松尾町	1			3			1			8					13
		旧山武町				2	1		1			7					11
		旧蓮沼村				2			1			3					6
		大網白里市				3	2		6			7					18
	九十九里町			1	3	2		2			3	1				12	
	芝 山 町				2						5					7	
	管 外										1					1	
	計	1	0	1	23	14	0	19	0	2	59	4	0	0	0	123	

※ 北総ドクターヘリ運用開始(平成13年10月)

※ 君津ドクターヘリ運用開始(平成21年1月)

※ 北総ラピッドカー運用開始(平成22年6月)

※ 実働件数(ラピッドカー含む)とし、1機体出動につき1件を、往復搬送は1件で計上

年 別 救 助 活 動 状 況

(平成24年～平成26年)

事故種別 年 別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 機 械 に よ る 故	事 建 物 等 に よ る 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外										
24	出 動 件 数			62	18		3	7	2			18	110
	活 動 件 数			24	3		1	5	1			9	43
	救 出 人 員			30	3		1	5	1			9	49
25	出 動 件 数	3		69	20	8	3	36	1			18	158
	活 動 件 数	3		24	6	5	1	12				7	58
	救 出 人 員	4		25	6	20	1	12				7	75
26	出 動 件 数	3		68	14	1	1	25	1			19	132
	活 動 件 数	3		35	8			9				7	62
	救 出 人 員	2		38	10			9				7	66

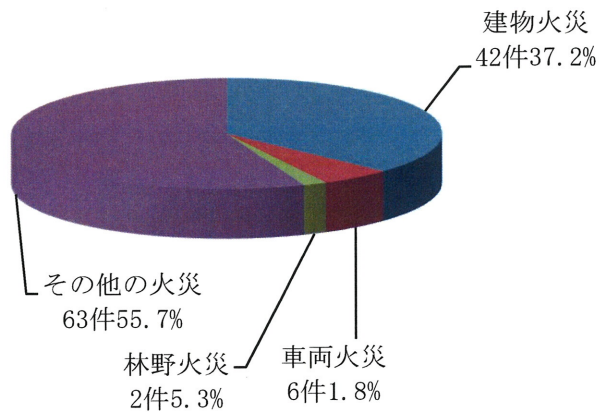
救 助 活 動 状 況

(平成26年)

事故種別 区 分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	事 機 械 に よ る 故	事 建 物 等 に よ る 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外										
出 動 人 員	救 助 隊 員	17		294	100	4	3	98	3			80	599
	消 防 隊 員	47		523	107	6	9	173	7			133	1,005
	救 急 隊 員	15		303	51	3	3	75	3			57	510
	計	79		1,120	258	13	15	346	13			270	2,114
活 動 人 員	救 助 隊 員	13		95	52			11				25	196
	消 防 隊 員	32		195	61			28				43	359
	救 急 隊 員	12		111	24			27				21	195
	計	57		401	137			66				89	750
出 動 車 両	救 助 工 作 車	3		43	14	1		20	1			11	93
	水槽付ポンプ車	11		117	24	1	2	30	1			28	214
	は し ご 車												
	化 学 車												
	指 揮 車	6		130	28	2	2	48	2			37	255
	救 急 車	5		102	17	1	1	24	1			19	170
	計	25		392	83	5	5	122	5			95	732
活 動 車 両	救 助 工 作 車	3		11	7			2				2	25
	水槽付ポンプ車	7		47	14			6				10	84
	は し ご 車												
	化 学 車												
	指 揮 車	4		41	15			5				11	76
	救 急 車	4		38	8			9				7	66
	計	18		137	44			22				30	251

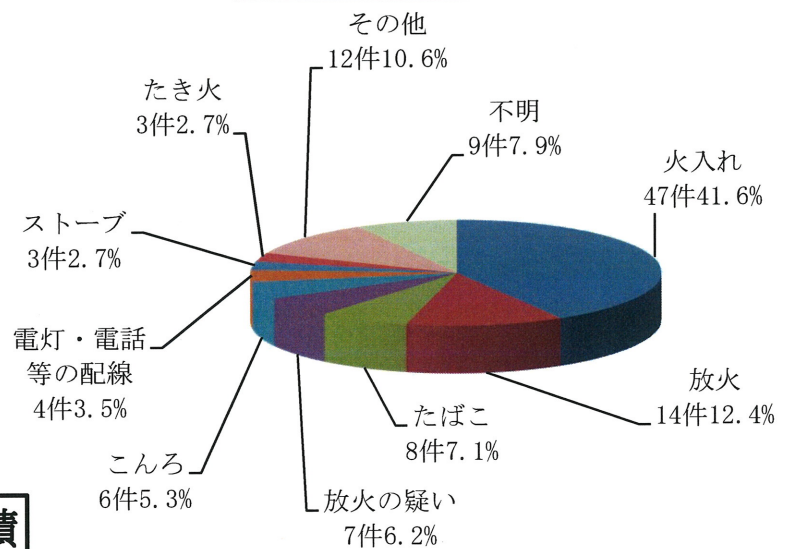
火災種別発生状況

火災件数 113 件



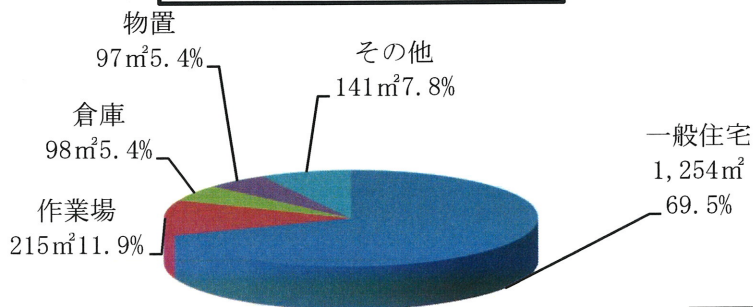
出火原因別火災件数

火災件数 113 件



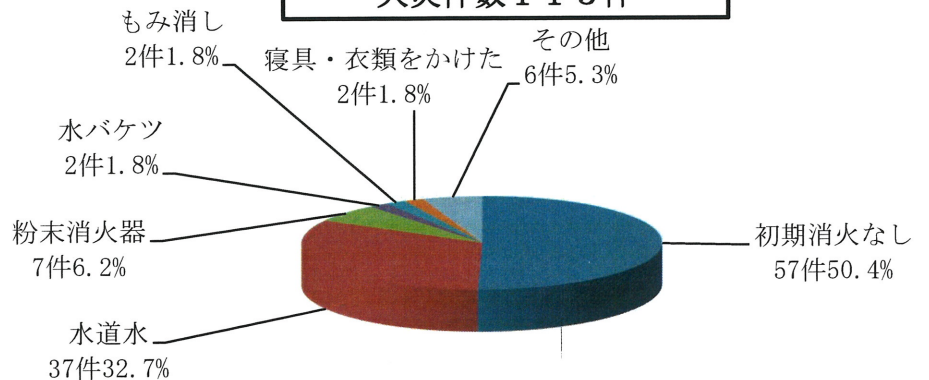
建物用途別焼損面積

焼損面積 1,805 m²



初期消火器具使用状況

火災件数 113 件



火 災 概 況 及 び 比 較 表

区 分 \ 年 別		平成24年		平成25年		平成26年		昨年との比較
火災発生件数	合 計	133		130		113		△17
	建 物 火 災	61	45.9%	51	39.2%	42	37.2%	△9
	林 野 火 災	14	10.5%	7	5.4%	2	1.8%	△5
	車 両 火 災	8	6.0%	8	6.2%	6	5.3%	△2
	船 舶 火 災							
	航 空 機 火 災							
	そ の 他 の 火 災	50	37.6%	64	49.2%	63	55.7%	△1
焼失棟数	合 計	97		75		58		△17
	ば や	27		32		28		△4
	部 分 焼	24		15		8		△7
	半 焼	4		4		2		△2
	全 焼	42		24		20		△4
焼失面積	建 物 (㎡)	4,620		2,414		1,805		△609
	林 野 (a)	51		21		18		△3
罹災世帯数	合 計	58		40		30		△10
	小 損	37		27		17		△10
	半 損	1		7		3		△4
	全 損	20		6		10		4
	人 員	120		105		64		△41
損害額(千円)	合 計	199,045		215,671		111,975		△103,696
	建 物 火 災	189,448		213,275		110,798		△102,477
	林 野 火 災	700		487		0		△487
	車 両 火 災	5,406		694		963		269
	船 舶 火 災							
	航 空 機 火 災							
	そ の 他 の 火 災	3,491		1,215		214		△1,001
死傷者	死 者	10		6		7		1
	負 傷 者	21		10		12		2
1 件 平 均 損 害 額(千円)		1,497		1,659		991		△668
1 日 平 均 損 害 額(千円)		544		591		307		△284
建 物 火 災 の み (千円)		3,106		4,182		2,638		△1,544
建 物 火 災 の み (千円)		518		584		304		△280
出 火 率 (人口1万人当たり)		6.8		6.7		5.9		△0.8

市町別火災発生状況

(平成26年)

火災種別 市町別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		件 数 計
	件	焼失面積	損害見積額	件	焼失面積	損害見積額	件	焼失数	損害見積額	件	焼失数	損害見積額	件	焼失数	損害見積額	件	損害見積額	
	数	(㎡)	(千円)	数	(a)	(千円)	数	(台)	(千円)	数	(隻)	(千円)	数	(機)	(千円)	数	(千円)	
東 金 市	16	430 (表) 27	18,390	1	0	0	1	1	1							23	120	41
山 武 市	11	942 (表) 7	66,255				3	3	886							24	4	38
大 網 白 里 市	4	105 (表)	3,386				1	1	11							8	3	13
九 十 九 里 町	7	258 (表)	13,235													7	87	14
芝 山 町	4	70 (表)	9,532	1	18	0	1	1	65							1	0	7
計	42	1,805 (表) 34	110,798	2	18	0	6	6	963							63	214	113

※(表)は、表面積

火災件数及び損害状況

(平成17年～平成26年)

年 別	件 数	火災種別						焼損面積		損 害 額 (千円)						計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	
17	172	88	9	16			59	6,785	130	1,436,869	1,311	6,462			12,678	1,457,320
18	121	62	9	6			44	2,518	48	207,575	291	1,389			160	209,415
19	127	62	7	14			44	3,500	16	177,721	758	28,676			491	207,646
20	170	52	11	13			94	3,554	30	315,486	762	3,422			2,835	322,505
21	145	61	2	11	1		70	2,793	1	214,176	81	5,201	28		412	219,898
22	147	61	10	12			64	4,245	10	211,560	47	691			853	213,151
23	223	54	22	16			131	4,352	161	372,769	3,290	4,023			3,442	383,524
24	133	61	14	8			50	4,620	51	189,448	700	5,406			3,491	199,045
25	130	51	7	8			64	2,414	21	213,275	487	694			1,215	215,671
26	113	42	2	6			63	1,805	18	110,798		963			214	111,975

月別火災発生件数及び損害状況

(平成26年)

種別 月別	建物火災			林野火災			車両火災			船舶火災			航空機火災			その他の火災		死傷者	
	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失面積 (㎡)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失面積 (a)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (台)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (隻)	件数 (件)	損害額 (千円)	焼失数 (機)	件数 (件)	損害額 (千円)	死者	負傷者
1	8	48,200	610				1	150	1							9	1	1	1
2	3	980	51				1	326	1							11	9		3
3	3	128	0													9	2	1	1
4	1	2,446	87				1	65	1							8	86		
5	6	16,709	317	2	0	18										5	1	1	4
6	3	16,506	222				1	410	1							1	0		
7	3	1,684	115													7	3	1	
8	6	13,042	231													5	2	2	
9	4	8,015	0				1	1	1							4	105		1
10							1	11	1									1	
11	4	944	58													1	5		1
12	1	2,144	114													3	0		1
計	42	110,798	1,805	2	0	18	6	963	6							63	214	7	12

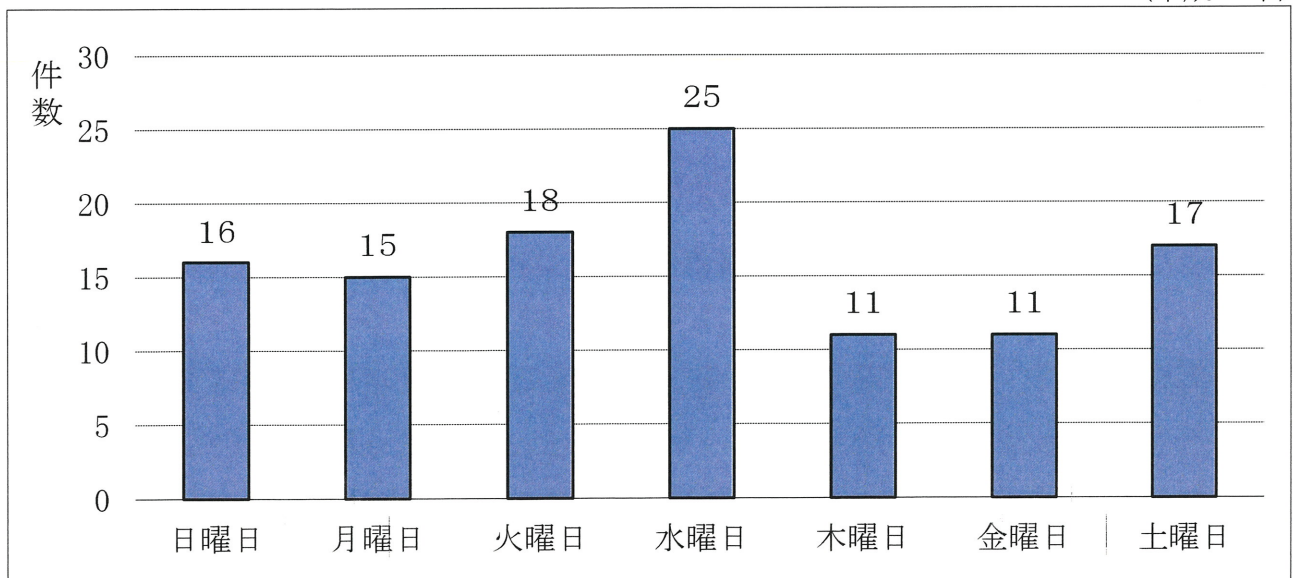
時間別火災発生状況

(平成26年)

月別 件数 時間	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	種 別					
	113	18	15	12	10	13	5	10	11	9	1	5	4	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
														42	2	6	0	0	63
0～1	3		1				1		1					2		1			
1～2	0																		
2～3	0																		
3～4	2							1		1				1					1
4～5	3						1			1		1		2					1
5～6	1								1					1					
6～7	2	1								1				2					
7～8	0																		
8～9	2											1	1	1					1
9～10	6			2		3		1						1					5
10～11	8	2		1	1	1	1	1		1				2					6
11～12	14	3	1	3		1		2	1	3				2	1	1			10
12～13	8	2	2	1		1		1				1		1					7
13～14	8	1	1			1		2	1	2				2					6
14～15	6	1	2	1	1								1						6
15～16	8	1	1	1	1	1			2				1	4					4
16～17	8		1		3	1			1		1	1		3	1	1			3
17～18	12	2	2	3	2			1	1				1	3		1			8
18～19	3	2							1					3					
19～20	3	1	1				1							2					1
20～21	2					1						1		2					
21～22	4	1				1	1		1					3		1			
22～23	0																		
23～24	6				2	2		1	1					3					3
不 明	4	1	3											2		1			1

曜日別火災発生状況

(平成26年)



年 別 火 災 原 因 別 件 数

年 別 原因別	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	備 考
火 入 れ	27	66	34	41	47	枯草、枯枝、枯葉、廃材、ごみ等の焼却及び焼却の火の粉等に分類されるもの
放 火	20	31	13	17	14	経過中、放火に分類されるもの (放火自殺、放火殺人を含む)
た ば こ	9	10	5	5	8	たばこに分類されるもの
放 火 の 疑 い	11	28	12	16	7	経過中、放火の疑いに分類されるもの (放火自殺、放火殺人を含む)
こ ん ろ	9	6	7	5	6	電気、ガス、石油、七輪、まき等を燃料とするこんろ及びこんろの火の粉等に分類されるもの
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1	2	2	2	4	電気による発熱体のうち、電灯電話等の配線に分類されるもの
ス ト ー ブ	6	3	8	5	3	電気、ガス、石油、まき、石炭等を燃料とするストーブ及びストーブの火の粉等に分類されるもの
た き 火	8	9	3	1	3	たき火、虫焼火、たき火の火の粉等に分類されるもの
排 気 管	1	5	3	5	2	排気管及び排気管の火の粉等に分類されるもの
火 あ そ び	2	2	6	4	2	経過中、火あそびに分類されるもの
電 気 装 置	3	1	2	2	2	電気による発熱体のうち、電気装置に分類されるもの
交通機関内配線	1	2	2		2	電気による発熱体のうち、電灯、電話等の配線に分類されるもの
溶 接 機、切 断 機	3	1	1		1	溶接機、自動半田付け機、ガス油類を燃料とする溶接機・切断機等
そ の 他	26	24	24	22	3	上記のいずれにも分類されないもの
不 明	20	33	11	5	9	発火源または経過が不明なもの
計	147	223	133	130	113	

火事と救急・救助 119

火災の問い合わせ

0475 (52) 0404

休日・夜間診療の問い合わせ

0475 (55) 0119

消防年報 平成26年版

発行 平成27年7月

編集 山武郡市広域行政組合消防本部・総務課企画係

〒283-0062 千葉県東金市家徳384番地2

TEL 0475 (52) 8751

FAX 0475 (55) 0131

URL : <http://www.sanbukouiki-chiba.jp/FDHP/newfd.119.html>

E-mail : fd.soumu@sanbukouiki-chiba.jp